

(案)

令和 5 年度 食育推進施策 実施状況報告書



新潟市食育・花育推進キャラクター

まいかちゃん

この報告書は、新潟市食育推進条例（平成 19 年条例第 3 号）第 21 条の規定に基づき、食育の推進に関して、令和 5 年度に講じた施策について報告を行うものである。

第4次新潟市食育推進計画の概要

第4次新潟市食育推進計画

1. 基本理念

本計画は、新潟市食育推進条例の基本理念に基づき、食を取り巻く現状から見えてきた課題や、第3次計画の評価を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むことができるよう施策を総合的かつ計画的に推進し、もって生き生き暮らせる活力ある住みよいまち新潟の実現に寄与することを目的とします。

新潟市食育推進条例（概要）

基本理念（第3条）

- ①心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の形成、感謝の念の醸成等
- ②自発的な意思の尊重、家庭が重要であるという認識のもとでの関係者の有機的な連携
- ③特に子どもたちに対する積極的な取組
- ④生産者と消費者との交流による地域の活性化や環境と調和のとれた食料の生産・消費

施策の基本となる事項（第11条～第18条）

- ① 家庭における食育の推進
 - ・市民の健全な食習慣の確立
- ② 学校、保育所等における食育の推進
 - ・食に関する指導内容・指導体制の充実や学校給食等の活用等
- ③ 地域及び職場における食生活改善のための取組の推進
 - ・食育の専門的知識を有する者の養成や活用、食育の普及啓発活動の推進
- ④ 地域の力を生かした食育の推進
 - ・各団体その他の地域の力を積極的に生かした食育の推進
- ⑤ 生産者と消費者との交流
 - ・信頼関係の構築
 - ・地域の活性化や環境と調和のとれた食料の生産・消費
- ⑥ 地産地消の促進
 - ・地域における積極的な消費や学校、保育所等における利用の促進
- ⑦ 食文化の継承のための支援
 - ・地域の特色ある伝統的な食文化の継承
- ⑧ 食育の普及・啓発等
 - ・食育の普及啓発及び食品の安全性その他の食育に関する情報の発信

2. 基本目標

第3次計画では、20～30歳代の若い世代における、朝食の欠食や食文化の継承などの課題が残りました。また、食品ロスや地産地消など、持続可能な社会の実現に向けた食育をより一層推進していくことが大切だと考えられます。そして、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から家庭内食が増加し、新しい生活様式に対応したデジタル化の推進など、社会情勢の変化も見られます。

第4次計画では、こうした状況やこれまでの取組成果と課題を踏まえ、豊かな自然環境のもとで米その他多種多様な食料が生産され、都市と田園が共存しているという、新潟市の特色ある基盤を生かし、新潟市民が「食べることは生きること」を基本として捉え、環境に配慮しながら、新潟の食へ自発的に関心と誇りをもつことを目指します。

基本目標【1】食を楽しむ

若い世代を中心として、まずは食を楽しむことをきっかけとし、自発的に食へ関心を高めていけるよう、取組を推進していきます。また、新型コロナウイルス感染症の影響による家庭内食の増加に対応し、調理体験や収穫体験、食育マスター等による食育活動を通して、共食などの家庭食の重要性の再認識を図りながら、食育への関心を高めることを目指します。



基本目標【2】食を大切にする

私たちの食生活は自然の恩恵の上に成り立っているということを認識し、豊かな自然環境に恵まれた本市の特長を生かし、環境と調和のとれた持続可能な食料生産と消費に向け、地産地消や食品ロス、新潟の食文化の継承に関する取組を推進します。



基本目標【3】食で健康になる

食は生きる上での基本であり、「食べることは生きること」と認識し、生涯にわたって心身ともに健全で豊かな生活を送れるよう、切れ目のない食育を推進していきます。

子どもや子育て世代を中心とした朝食摂取率の向上や、食に関する正しい情報を選択できるよう取り組むことで、健全な食生活の実践を目指します。



3. 施策の視点・考慮すべき点

計画の推進にあたり、下記の3項目を施策の視点や考慮すべき点として、取組を推進します。

若い世代に対する取組強化

- 進学や就職で生活環境が変化し、食生活の自立が求められることから、食への課題が多い学生や働く世代等の若い世代へ、大学や企業等と連携を図りながら重点的に取り組み、食への関心を高めます。
- 子育て世代の食環境は子どもの基本的生活習慣の基礎づくりへの影響力が大きいことから、家族で健全な食生活を実践することができるよう、食や健康への関心を高める取組を推進します。

「新たな日常」への対応

- 「新たな日常」「新しい生活様式」による暮らしの変化を踏まえ、デジタル化に対応し、ICT等を活用した新しい視点での効果的な情報発信に取り組みます。
- 在宅時間の増加傾向を踏まえ、家庭における食育の推進を図ります。

食育の推進によるSDGsへの貢献

- 食育の推進は17の目標のうち、特に「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」について、貢献することが可能であると考えられています。食育を通して、健全な食生活の実現や豊かな食文化の継承、食品ロスの削減など、SDGsへの貢献を視野に入れ、推進を図ります。

コラム

「持続可能な開発目標 SDGs」とは

2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能な世界の実現を目指す国際目標です。17のゴール、169のターゲットから構成されており、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。

食育の推進は、我が国の「SDGsアクションプラン2021」(令和2年12月持続可能な開発目標(SDGs)推進本部決定)の中に位置づけられており、SDGsの達成に寄与するものであるとされています。



4. 施策の体系図

新潟市食育推進条例における目的

- ①市民一人ひとりが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む
- ②いきいき暮らせる活力ある住みよいまち“新潟”の実現

基本目標【1】

食を楽しむ

基本目標【2】

食を大切にする

基本目標【3】

食で健康になる

施策の視点・考慮すべき点

若い世代に対する取組強化

「新たな日常」への対応

SDGs への貢献

5つの基本的施策と主な取組

1. 地域における食育の推進

- (1) 食育推進運動の展開
- (2) 健康寿命延伸につながる食育の推進
- (3) 各種企業・団体等との連携・協力体制の確立
- (4) 地域の力を生かした食育の推進
- (5) 職場における食育の推進
- (6) 拠点施設における食育の推進
- (7) あらゆる広報媒体を活用した食育の普及啓発、情報の発信

2. 家庭における食育の推進

- (1) 望ましい食習慣や知識の習得
- (2) 妊産婦や乳幼児に関する食育の推進
- (3) 在宅時間を活用した食育の推進

3. 学校、保育所等における食育の推進

- (1) 保育所等における食育の推進
- (2) 小・中学校における食育の推進
- (3) 給食を通じた食育活動の推進
- (4) 高校、大学等における食育の推進

4. 環境に配慮した食育の推進

- (1) 農林漁業体験を通じた食育の推進
- (2) 地産地消の促進
- (3) 食文化の継承につながる食育の推進
- (4) 食品ロス削減につながる食育の推進
- (5) 環境に配慮した消費の推進

5. 食の安全・安心に関する食育の推進

- (1) 食品の安全性に関する知識と理解の増進
- (2) 食品表示の理解促進

5. 数値目標

施策の評価や達成度を把握するため、「数値目標」を設定し、その目標値の達成に向けて、施策を進めることとします。

No.	指標	策定時 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	目標値 (令和8年度)	課題・今後の対応等	所管課	出典	
【1】食を楽しむ									
1	食べることを「楽しい」と思う市民の割合	73.3%	—	—	80.0%	「楽しむ」ことから食への関心につながるよう、引き続き啓発を図る。	食と花の推進課	(1)	
2	1日に1回以上、誰か(家族・友人・知人等)と一緒に 食事をしている市民の割合	80.9%	—	—	90.0%	「食育の日」の普及啓発と関連し、「共食」の周知も図る。	食と花の推進課	(1)	
3	農林漁業体験を経験した市民(世帯)の割合	47.1%	—	—	50.0%	農林漁業体験がさらに市民に浸透し、楽しみながら食への関心が高まるよう取組む。	食と花の推進課	(1)	
4	アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成された小・中学生の割合	94.0%	95.1%	92.0%	100.0%	本市の農業への誇りが醸成されるよう、取組を継続する。	食と花の推進課	(2)	
【2】食を大切にする									
5	身近な場所でとれた食材を選ぶ市民の割合	74.8%	—	—	80.0%	給食や食文化継承とも連携させ、地元の農産物のPRを図る。	食と花の推進課	(1)	
6	「食品ロス」を減らすために取り組んでいる市民の割合	93.1%	—	—	95.0%	他部署とも連携を図りながら、環境に配慮した食育を推進する。	循環社会推進課 食と花の推進課	(1)	
7	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)	県内産	58.4%	57.2%	59.9%	60.2%	物価高騰のため、割高な地場産物の買い控えもあったが、規格外品の活用や生産者からの直接購入など様々な方策を検討し、地産地消を推進する。	保健給食課 食と花の推進課	(3)
		(参考)市内産	24.7%	25.4%	25.3%	—			
8	小学校における「食に関する指導」実施校の割合	94.3%	—	—	100.0%	家庭や地域との連携しながら、食育指導を推進する。		(4)	
9	食文化(郷土料理や行事食)を受け継いでいる市民の割合	18歳以上	53.7%	—	—	70.0%	SNS等を活用し、郷土料理や行事食の周知を継続して実施する。また、保育園や学校での給食提供を通し、子どもへの普及啓発につなげる。	食と花の推進課	(1)
		18～39歳	41.5%	—	—	60.0%			
【3】食で健康になる									
10	「主食」、「主菜」、「副菜」の言葉や意味を知っている市民の割合	18歳以上	80.0%	—	—	90.0%	広報等による普及啓発を行う。特に若い世代に対し、イベントやSNS等を活用しながら、わかりやすい伝達を図る。	健康増進課 食と花の推進課	(1)
		18～39歳	79.9%	—	—	90.0%			
11	主食・主菜・副菜のそろった食事をしている市民の割合	18歳以上	63.2%	—	72.9%	80.0%			(5)
		18～39歳	54.3%	—	57.5%	70.0%			
12	朝食を欠食する市民の割合 ※18～39歳：1週間で「週に1～2回食べる」「ほとんど食べていない」と回答した割合 ※小・中学生：1週間で「ほとんど食べていない」と回答した割合 ※小学生・中学生は全学年を対象とする	18～39歳	23.2%	—	23.5%	150%以下	広報等による普及啓発を行う。		(5)
		小・中学生	1.9%	2.3%	2.6%	0.0%			

- 【出典一覧】**
- (1) 令和3年度 「食育」に関する市民アンケート調査（食と花の推進課）
 - (2) 令和5年度 児童・生徒の農業についての意識調査（食と花の推進課）
 - (3) 令和5年度 学校給食における地場産農林水産物の使用状況調査（保健給食課）
 - (4) 令和3年度 学校における「食に関する指導」の取組状況調査（食と花の推進課）
 - (5) 令和5年度 新潟市民の健康づくりに関する調査（保健所健康増進課）
 - (6) 令和5年度 新潟市生活・学習意識調査（新潟市立総合教育センター）

**各施策の取組実施状況の概要と
主な事例報告**

令和5年度食育関連事業一覧

基本的施策と主な取組		事業名	所管課	頁	
1. 地域における食育の推進	(1) 食育推進運動の展開	「食育月間（6月）」「食育の日（毎月19日）」の普及啓発	食と花の推進課	11	
	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進	ちょいしおプロジェクト 「野菜deちょいしおメニュー」の提供	保健所健康増進課	12	
		生活習慣病予防等における健康教育の実施	保健所健康増進課	13	
		健康相談の実施	保健所健康増進課	14	
		骨粗しょう症予防相談会の実施	保健所健康増進課	15	
		「噛むこと」の重要性を含めた歯科保健指導	保健所健康増進課	16	
		ご近所だんぎ2月「知っ得！食のミニ教室」	豊栄地区公民館	17	
		アクティブシニア講座Ⅱ 「美味しく食べて健康寿命を延ばす」	豊栄地区公民館	18	
	(3) 各種企業・団体等との連携・協力体制の確立	学生と連携した食育の推進	食と花の推進課	19	
	(4) 地域の力を生かした食育の推進	新潟市食育マスターの登録・紹介	食と花の推進課	20	
		食生活改善推進委員養成講座及び研修会・勉強会の開催	保健所健康増進課	21	
		健康増進普及講習会の実施	保健所健康増進課	22	
		親子収穫体験	西区農政商工課	23	
		地域活動補助金	市民協働課	24	
		西地区公民館・コミュニティ佐潟主催事業 親子料理教室	西地区公民館	25	
		桃山校区コミュニティ協議会共催事業	中地区公民館	26	
		ユースセミナー「こだわりから学ぶ」	豊栄地区公民館	27	
		地域と学校パートナーシップ事業 身近な野菜でかんたん漬物講座	西地区公民館	28	
		(5) 職場における食育の推進	給食施設指導会の開催	保健所食の安全推進課	29
	明生園「旬の食材を用いた行事メニューの提供」		障がい福祉課明生園	30	
	(6) 拠点施設における食育の推進	主催料理教室の開催	食と花の推進課 (食育・花育センター)	31	
		食育ミニ体験の実施	食と花の推進課 (食育・花育センター)	32	
		団体体験プログラムの実施	食と花の推進課 (食育・花育センター)	33	
		食の情報展示	食と花の推進課 (食育・花育センター)	34	
		アグリパーク体験事業	食と花の推進課 (アグリパーク)	35	
	(7) あらゆる広報媒体を活用した食育の普及啓発、情報の発信	キャラクターの活用	食と花の推進課	36	
		健康レシピ等の掲載	保健所健康増進課	37	
		食生活改善推進委員作成のレシピの掲載	江南区地域総務課	38	
	2. 家庭における食育の推進	(1) 望ましい食習慣や知識の習得	家庭・地域との連携強化	保健給食課	40
			歯っぴーすまいるプロジェクト	東区健康福祉課	41
			親子ヘルシーランチクッキング	東区健康福祉課	42
			西蒲区特色ある区づくり事業 にしかん健康プロジェクト	西蒲区健康福祉課	43
			給食だよりの発行	幼保支援課	44
			ゆりかご学級交流会	豊栄地区公民館	45
			横越地域学 「うんめ～横越。こどももおとなもいただきます。」	横越地区公民館	46
男性料理教室「魚の捌き方と一品料理」			黒埼地区公民館	47	
イカをさばいてパスタランチをつくろう！			黒埼地区公民館	48	
キッズパティシエ教室 パレンティンケーキ作り			黒埼地区公民館	49	
にいがた市民大学 「家族みんなのための栄養学－実践的な工夫－」			生涯学習センター	50	
(2) 妊産婦や乳幼児に関する食育の推進			妊産婦・乳幼児に関する食生活指導・相談	保健所健康増進課、 各区健康福祉課	51
(3) 在宅時間を活用した食育の推進			SNS等を活用した食育情報の発信	食と花の推進課	52

基本的施策と主な取組		事業名	所管課	頁
3. 学校・保育所等における食育の推進	(1) 保育所等における食育の推進	菌ちゃんりサイクル元気野菜づくり	食と花の推進課	54
		食に関する体験活動機会の提供	幼保支援課	55
		保育施設職員を対象とした研修会の開催	幼保支援課	56
		南区の実りをいただく日	南区健康福祉課	57
		こどものうちからSDGs in 南区	南区区民生活課	58
	(2) 小・中学校における食育の推進	新潟発 わくわく教育ファーム推進事業	食と花の推進課	59
		「食と農のわくわくSDGs学習」推進事業	食と花の推進課	60
		学校教育田設置事業	食と花の推進課	61
		こども食育新聞の発行	食と花の推進課	62
		栄養教諭等資質向上のための研修	保健給食課	63
		学校における食に関する指導の充実	保健給食課	64
		教職員を対象とした研修会の開催	保健給食課	65
		研究推進校の指定 「食に関する指導実践事例集」の作成	保健給食課	66
		食育指導者の派遣	保健給食課	67
		北区地場産物を使った食育学校支援事業	北区産業振興課	68
	(3) 給食を通じた食育活動の推進	小学校収穫体験・生産者講話	西区農政商工課	69
		生きた教材となる標準献立の作成	保健給食課	70
		学校給食における地産地消の推進	保健給食課	71
		コシヒカリ給食	西区農政商工課	72
	(4) 高校、大学等における食育の推進	西区一斉いもジェンヌ給食	西区農政商工課	73
西区保育施設いもジェンヌおやつ月間		西区農政商工課	74	
4. 環境に配慮した食育の推進	(1) 農林漁業体験を通じた食育の推進	研修・ボランティアの受け入れ (食育・花育センター)	食と花の推進課	75
	(2) 地産地消の促進	農業サポーター推進事業	食と花の推進課	77
		給食への地場農産物供給事業	食と花の推進課	78
	(3) 食文化の継承につながる食育の推進	地産地消推進事業	食と花の推進課	79
		郷土料理レシピ集の発行	食と花の推進課	80
		新潟市食文化創造都市推進会議	食と花の推進課	81
		若手料理人育成支援事業	食と花の推進課	82
		食育の日	幼保支援課	83
		農村地域生活アドバイザー連絡会による味噌作り教室	西蒲区産業観光課	84
		ふるさとかるた体験会&なかのくち昔のごつつお団子汁試食会	中之口地区公民館	85
	(4) 食品ロス削減につながる食育の推進	そうだったんだ女池菜 ～雪がもたらす街の宝物を食べてみよう～	鳥屋野地区公民館	86
		食品ロス削減推進事業	循環社会推進課	87
		環境優良事業者認定事業	循環社会推進課	88
	(5) 環境に配慮した消費の推進	消費者啓発講座「くらしの一日教室」	市民生活課 消費生活センター	89
		段ボールコンポスト普及啓発事業	循環社会推進課	90
		資源とごみの情報紙「サイチョプレス」発行による市民向け広報	循環社会推進課	91
		学校給食残渣堆肥化事業	循環社会推進課	92
		地域の生ごみ堆肥化事業	循環社会推進課	93
	5. 食の安全・安心に関する食育の推進	元気な農業応援事業	農林政策課	94
(1) 食品の安全性に関する知識と理解の増進		「食の安全基本方針」の普及と取り組みの推進	保健所食の安全推進課	96
		食肉の安全性についての情報提供	食肉衛生検査所	97
(2) 食品表示の理解促進	※「食の安全基本方針」に基づき各事業を実施	保健所食の安全推進課		

1 地域における食育の推進

事業名等	「食育月間（6月）」 「食育の日（毎月19日）」の普及啓発		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(1) 食育推進運動の展開		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	「食育の日」を契機として、市民の「食育」への理解を深め、実践へとつながるよう、賛同する小売店、飲食店等を「新潟市『食育の日』協力店」として登録し、年3回（6月・10月・3月）の19日を中心とした日に、食育メニューの提供や地場産食材の販売、食育に関する情報提供を実施することで、市民への普及啓発を図る。
R5年度実績・成果	飲食店、小売店における年3回（6月、10月、3月）の取り組みを継続して行い、食育情報を掲載した「食育の日チラシ」の配布や、のぼり旗の設置を実施することで、市民に向けた普及啓発につなげた。 ・飲食店（登録店舗数16店舗）で主食・主菜・副菜のそろったバランスの良い食育メニュー等の提供を行った。 ・小売店（登録店舗数14社98店舗）で地場農産物の集合販売、レシピ等の配布を行った。
課題・今後の方向性	類似事業とあわせて、制度や今後の方向性を令和7年度から見直す予定。

【取組の様子】

		
飲食店の取組の様子	小売店の取組の様子	チラシ、リーフレットの設置

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	ちよいしおプロジェクト「野菜deちよいしおメニュー」の提供		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	本市は全国と比較し脳血管疾患、胃がんの死亡率が高い状況にある。原因の一つとされる、食塩の過剰摂取について対策を推進するため、市民の減塩意識の向上と減塩に取り組むきっかけとすることを目的に、市内のレストランやラーメン店等と協力し「野菜deちよいしおメニュー」の提供と減塩に関する普及啓発を行う。
R5年度実績・成果	飲食店やラーメン店において野菜deちよいしおメニューの提供を夏期と冬期の2回開催。また、各店舗に減塩情報の卓上メモ等を設置いただき市民の減塩意識の向上につながるよう普及啓発を行った。 ・実施店舗数：24店舗
課題・今後の方向性	継続実施。市民への普及啓発を通じ減塩意識の向上につなげる。

【取組の様子】

R5冬期開催時のチラシ



担当課	保健所健康増進課
-----	----------

事業名等	生活習慣病予防等における健康教育の実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	生活習慣病予防、健康増進等に関する正しい知識の普及啓発を図るため、地域での健康教育や各種講習会を開催し、生活習慣改善のための栄養指導や保健指導、運動指導を行う。 また、地域依頼の講習については地域の実情に合わせた講習会や講話等を行う。		
R5年度実績・成果	各教室等を計画的に実施した。 地域からの依頼については、地域の実態に合わせた内容で講話など健康教育を実施した。		
課題・今後の方向性	継続実施		

【取組の様子】

—

担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	健康相談の実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	地域住民の心身の健康問題について個別に相談を行い、日常生活や食事の指導を通して生活習慣病を予防するとともに自らの健康管理ができるよう支援し、健康保持増進に資することを目的とし、健康相談を実施する。
R5年度実績・成果	各区が開催する健康相談では、一般健康相談のほか特定保健指導対象外の人へのアプローチの場として個別相談を実施した。 ・定例日健康相談会開催数：179回
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】

R5健康相談チラシ

令和5年度(2023年度)健康相談会 日程・会場一覧

ご自身の健康の維持増進のために、健康相談を受けることは積極的に推奨しております。
※申し込みの受付は、各区の健康相談センターにて、各土曜日の受付時間にてご受付いたします。
※お問い合わせは、健康相談センターの電話番号またはお問い合わせフォームにてご受付いたします。

年次	開催日									
	東区健康相談センター	北区健康相談センター	中央区健康相談センター	南区健康相談センター	東区健康相談センター	南区健康相談センター	中央区健康相談センター	東区健康相談センター	南区健康相談センター	中央区健康相談センター
4月	28日	28日	18日	4日	14日	14日	28日	28日	28日	28日
5月	24日	24日	14日	29日	12日	26日	24日	24日	24日	24日
6月	29日	29日	29日	9日	9日	9日	29日	29日	29日	29日
7月	28日	28日	18日	28日	14日	14日	28日	28日	28日	28日
8月	23日	23日	23日	13日	13日	13日	23日	23日	23日	23日
9月	27日	27日	17日	17日	22日	22日	27日	27日	27日	27日
10月	25日	25日	15日	3日	13日	13日	25日	25日	25日	25日
11月	22日	22日	22日	2日	24日	24日	22日	22日	22日	22日
12月	27日	27日	17日	3日	8日	8日	27日	27日	27日	27日
1月	24日	24日	14日	19日	12日	26日	24日	24日	24日	24日
2月	28日	28日	28日	8日	8日	8日	28日	28日	28日	28日
3月	27日	27日	17日	23日	9日	9日	27日	27日	27日	27日

令和5年度(2023年度)健康相談会 日程・会場一覧

ご自身の健康の維持増進のために、健康相談を受けることは積極的に推奨しております。
※申し込みの受付は、各区の健康相談センターにて、各土曜日の受付時間にてご受付いたします。
※お問い合わせは、健康相談センターの電話番号またはお問い合わせフォームにてご受付いたします。

年次	開催日									
	東区健康相談センター	北区健康相談センター	中央区健康相談センター	南区健康相談センター	東区健康相談センター	南区健康相談センター	中央区健康相談センター	東区健康相談センター	南区健康相談センター	中央区健康相談センター
4月	14日	14日	29日	8日	25日	27日	13日	17日	21日	24日
5月	12日	12日	12日	21日	22日	25日	15日	19日	23日	26日
6月	8日	20日	15日	8日	27日	29日	12日	16日	20日	23日
7月	14日	14日	29日	8日	25日	27日	13日	17日	21日	24日
8月	4日	29日	18日	3日	22日	24日	27日	10日	14日	24日
9月	8日	19日	21日	7日	26日	28日	12日	16日	20日	23日
10月	12日	12日	12日	21日	22日	25日	15日	19日	23日	26日
11月	10日	21日	18日	2日	23日	25日	14日	18日	22日	25日
12月	8日	19日	21日	7日	19日	27日	13日	17日	21日	24日
1月	12日	14日	18日	11日	23日	25日	29日	14日	18日	22日
2月	8日	20日	15日	8日	27日	29日	12日	16日	20日	23日
3月	8日	19日	14日	8日	18日	27日	13日	17日	21日	24日

担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	骨粗しょう症予防相談会の実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	骨折、転倒が要介護の要因の1つとなっていることから、骨粗しょう症の予防及び啓発を行うため、骨粗しょう症予防相談会を開催し、骨密度測定の結果をもとに食事・運動等の生活習慣の相談・指導を実施する。
R5年度実績・成果	各区において骨粗しょう症予防相談会を開催し、骨密度測定（踵骨の超音波検査）と測定結果に基づく食事や運動の相談・指導を行った。 ・開催数：54回
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】

R5骨粗しょう症予防相談会
(定例開催) チラシ

担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	「噛むこと」の重要性を含めた歯科保健指導		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	ひと口30回以上よく噛むことや、よく噛むことの効果を啓発することを目的に、乳幼児歯科健診や市政さわやかトーク宅配便「知っていそうで知らない！？口の中」など既存の歯科保健事業において、「噛むこと」の重要性を含む内容で歯科保健指導を行う。
R5年度実績・成果	各種歯科保健事業のにおいて、「噛むこと」の重要性を含む内容で歯科保健指導を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2歳児歯科健診において小冊子「幼児食と歯のおはなし」を配付 受診者数：3,295人 ・ 市政さわやかトーク宅配便「知っていそうで知らない！？口の中」 受講者数：119人
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】

小冊子
「幼児食と歯のおはなし」

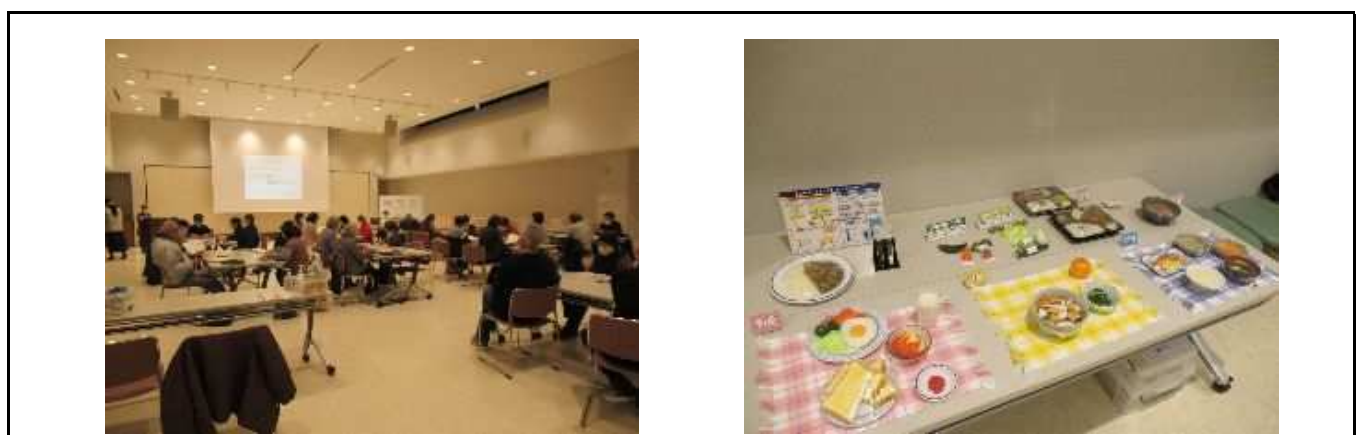
The image displays two pages from a booklet. The left page is the 'CONTENTS' page, listing topics such as '1歳から2歳まで', '2歳から3歳まで', '3歳から4歳まで', '4歳から5歳まで', '5歳から6歳まで', '6歳から7歳まで', '7歳から8歳まで', '8歳から9歳まで', '9歳から10歳まで', '10歳から11歳まで', and '11歳から12歳まで'. The right page is titled 'この時期の口の中の様子' (Appearance of the mouth at this time) and includes a diagram of a mouth with labels for '歯肉' (Gum), '歯' (Tooth), and '舌' (Tongue). It also features a '重要ポイント' (Important points) section with a table of '歯肉の厚さ' (Gum thickness) and '歯の長さ' (Tooth length) for different ages, and a '歯肉の硬さ' (Gum hardness) section with a table of '歯肉の硬さ' (Gum hardness) for different ages. The right page also includes a '歯肉の色' (Gum color) section with a table of '歯肉の色' (Gum color) for different ages.

担当課	保健所健康増進課
-----	----------

事業名等	ご近所だんぎ2月「知っ得！食のミニ教室」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>開催目的：人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援</p> <p>日時：令和5年2月8日（木）午後1時30分～2時30分</p> <p>会場：豊栄地区公民館</p> <p>講師：栄養士 田中富恵</p> <p>参加者：中高年34人</p>
R5年度実績・成果	<p>コロナ感染症が落ち着いて参加者が増加している。参加者にはリピーターも多くとても満足していただいている。食生活の話や災害時のパッククッキングの話はとても好評であった。</p>
課題・今後の方向性	<p>コロナ禍で見合わせていた「だんぎ」を再開予定。お茶とお菓子の提供は無く、今後の様子を見ながらとする。</p>

【取組の様子】



担当課	豊栄地区公民館
-----	---------

事業名等	アクティブシニア講座Ⅱ「美味しく食べて健康寿命を延ばす」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(2) 健康寿命延伸につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>開催目的：仕事人、会社人として生きてきた世代の人が退職後は家庭・地域で暮らしていく事をふまえて退職後の地域での仲間づくり・趣味（生きがい）探しをするきっかけづくり</p> <p>日時：令和4年12月1日（金）、12月8日（金）午前10時～12時</p> <p>会場：豊栄地区公民館、豊栄健康センター</p> <p>講師：新潟県立大学太田亜里美、栄養士若木ふよ子</p> <p>参加者：中高年18人</p>		
R5年度実績・成果	<p>コロナ禍以来実施することが困難であった『みんなで楽しく調理し食べる体験』ができた。講義、実習ともに誰でも無理なく実践できる内容に絞ったので「わかりやすかった」「すぐ役に立つ」と好評だった。</p>		
課題・今後の方向性	<p>令和5年度は食をテーマにしたが、次年度以降は違うテーマで実施予定である。</p>		

【取組の様子】



担当課	豊栄地区公民館
-----	---------

事業名等	学生と連携した食育の推進		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(3) 各種企業・団体等との連携・協力体制の確立		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	市民の食育や健康への意識を高めることを目的に、管理栄養士を目指す栄養学科の学生と連携して、食の課題が多い若い世代の発想を生かした取組を行い、学生の学びにもつなげる。
R5年度実績・成果	イオンリテール株式会社と連携し、働く世代を想定し、彩りとボリュームを保ちながら、1日に必要な野菜量(350g)の1/3が摂れるお弁当を考案し、県内36店舗で期間限定販売を行った。 購入者アンケートにより、学生と連携した取組へのニーズの高さが伺えた。また、今回のお弁当の野菜量を「普段より多い」と感じた方が約半数いたため、野菜の摂取に関する継続的な普及啓発が必要である。 購入者アンケート回答者へ抽選で県産食材を贈呈し、地場産食材への愛着にもつなげた。
課題・今後の方向性	今後も学生及び企業と連携した取組を継続し、食環境整備に努めていく。

【取組の様子】

PRちらし	店頭アンケートの様子	販売イベントの考案

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	新潟市食育マスターの登録・紹介		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食育に関する優れた知識、技術、技能及び経験を有する人材を「新潟市食育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等の要請に応じて、団体等が実施する食育活動における講師、指導者等として紹介を行うことで、食育を地域に密着した取組として推進する。
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年3月末時点登録者数：個人30人、団体6団体 ・学校や団体からの紹介依頼を受け、総合学習や料理教室の講師として食育マスターを紹介した。
課題・今後の方向性	今後も継続しつつ、類似事業との精査も含めた方向性の検討や市民への周知について検討が必要。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	食生活改善推進委員養成講座及び研修会・勉強会の開催		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	地域における栄養・食生活の改善と食育、健康づくり運動の推進のため、地域に根ざした活動を実施する食生活改善推進委員を養成を行う。また、食生活改善推進委員の資質向上と活動を支援する。
R5年度実績・成果	食生活改善推進委員の養成講座として健康栄養セミナーを実施した。また、食生活改善推進委員の資質向上を図るため、全体研修会や各区での地域単位の勉強会を実施した。 ・健康栄養セミナー：東区・中央区・西区の3区で各1コース実施。(1コース6回/新規入会者22名) ・全体研修会開催数：2回 ・各区勉強会開催数：32回
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】

R5健康栄養セミナーチラシ



担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	健康増進普及講習会の実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	健全な食生活に関する知識を普及啓発することにより、生活習慣病の一次予防を行うことを目的とする。食生活改善推進委員と連携し、市民に身近な会場で、地域の特性やニーズに応じた講習会等を実施する。		
R5年度実績・成果	生活習慣病予防を推進するために、食生活改善推進委員と連携して、減塩など地域の特性やニーズに応じたテーマとし、講話、調理実習または調理デモ・試食、運動を取り入れた講習会を開催した。 ・開催数：56回		
課題・今後の方向性	テーマや内容を見直し、食生活改善推進委員と連携しながら継続実施		

【取組の様子】

-

担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	親子収穫体験		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	農作物の収穫を通し、生産者と交流し、地場産の農産物への理解を深めることを目的に実施した。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ すいか 実施日：令和5年6月24日（土） 参加者：56組192名 ・ くろさき茶豆 実施日：令和5年8月26日（土） 参加者：37組125名 ・ メロン 実施日：令和5年9月23日（土） 参加者：72組224名 ・ さつまいも 実施日：令和5年10月14日（土） 参加者：73組259名 ・ ル レクチエ 実施日：令和5年10月21日（土） 参加者：49組176名 ・ 大根 実施日：令和5年11月20日（月・祝） 参加者：20組64名 		
課題・今後の方向性	今後も継続予定。		

【取組の様子】

ル レクチエ収穫体験	大根収穫体験
	

担当課	西区農政商工課
-----	---------

事業名等	地域活動補助金		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>地域住民が自主的、主体的に取り組む「地域課題の解決を図る活動」及び「地域コミュニティ活動の活性化を図る活動」に対し、補助金を交付する。</p> <p>補助率：「重点分野 10/10」・「イベントなど 1/2」 上限：「コミ協・自治会 20万円」・「その他団体 10万円」</p>		
R5年度実績・成果	<p>北区 1件 東区 1件 中央区 1件 西区 1件</p> <p>地域活動を通じて、食の楽しさ、食の大切さを学ぶことができた。</p>		
課題・今後の方向性	引き続き、地域の自主性を尊重しながら、活動支援を行う。		

【取組の様子】

担当課	市民協働課
-----	-------

事業名等	西地区公民館・コミュニティ佐潟主催事業 親子料理教室「～食べ物のなぜを探ろう！～親子でサイエンスクッキング」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	サイエンスクッキング体験を通じて地元特産野菜や食材の特性を学び合うことにより児童の豊かな人間性・社会性を育む。
R5年度実績・成果	<p>事業開催日：令和5年11月11日（全1回） 対象：木山小学校・赤塚小学校の1～6年生の親子 内容：赤塚地域の特産野菜を使用したサイエンスクッキング及び食材についての講話 ※手作りナンと野菜たっぷりドライカレーを調理。 参加人数：24人（定員：24人、応募：24人） 成果：地域特産野菜について学ぶとともにイーストを使用した実験及び考察を調理過程で取り入れ、児童の主体的な学びにつなげることができた。また、親子及び他小学校の児童同士で協力して作業を行い、事業目的を達成することができたと考える。（アンケートによる受講者満足度：100%、受講者の気づき：95%）</p>
課題・今後の方向性	<p>実験の要素を取り入れた当講座のテーマは低学年の児童にとって理科や家庭科の入門として良い体験となることから、小学校としても来年度以降も継続して同テーマでの開催を希望されているが、小学校の家庭科室で実演が可能な内容は人的・設備的にも限りがあるため、過去の講座との差別化を図りつつも充実した内容となるよう検討が必要である。</p>

【取組の様子】

	
「イースト菌のが膨らむ仕組み」	調理の様子

担当課	西地区公民館
-----	--------

事業名等	桃山校区コミュニティ協議会共催事業「楽しく作ろう親子料理教室」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの基本生活習慣の形成 ・地域、家庭の教育力向上 ・地域住民が連携して実施することによる地域の活力づくり、組織づくり <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：桃山小学校、共催：桃山校区コミュニティ協議会、講師：食生活改善推進員、対象：小学生の親子、メニュー：笹団子
R5年度実績・成果	郷土みやげにもなるお菓子（笹団子）は関心が高く、親子で一緒に作ることで、郷土について一緒に考える機会となった。子どもの基本的な生活習慣を、地域、学校、家庭で連携し考える事業として継続している。
課題・今後の方向性	申込者多数の場合の案内などの役割分担、材料費の高騰による経費削減などが課題。

【取組の様子】



担当課	中地区公民館
-----	--------

事業名等	ユースセミナー「こだわりから学ぶ」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>開催目的：仕事や家庭以外での学びを通し、同世代同士の交流や情報交換をすることで自分自身を高める。</p> <p>日時：令和5年11月18日（土）、12月2日（土）・16日（土）午前10時～12時</p> <p>会場：豊栄地区公民館</p> <p>講師：新潟バーベキュー協会パンチヨ須田、DONBASS COFFEE ROASTERS小林誉尚、月岡ブルワリー新保典司</p> <p>参加者：20～40代のべ43人</p>
R5年度実績・成果	<p>それぞれに活躍している講師から、そのこだわりについての話を聞いたうえで、試食も行った。</p> <p>コロナ禍以来実施することが困難であった『飲食』ができたことで、講師の想いを五感で感じることができ好評だった。</p>
課題・今後の方向性	令和5年度は食をテーマにしたが、次年度以降は違うテーマで実施予定である。

【取組の様子】



担当課	豊栄地区公民館
-----	---------

事業名等	地域と学校パートナーシップ事業 身近な野菜でかんたん漬物講座		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(4) 地域の力を生かした食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	学社民融合事業の一環で、公民館事業を学校で開催することによって、学校や地域のボランティア等への関心と理解を促す。 今回は、内野小・中学校コーディネーターからの要望により漬物講座を開催。
R5年度実績・成果	広報は内野中学校区内の自治会長に地域回覧を依頼。結果、募集定員にまで至らなかったが、16人が参加。アンケートの満足度は100%であり、大きな成果を得られた。
課題・今後の方向性	事業費は地域教育推進課から配当を受け実施。当館では3年連続となるため、次年度は他館を考慮し、要望を行わなかったが、機会を見て再開を検討。

【取組の様子】

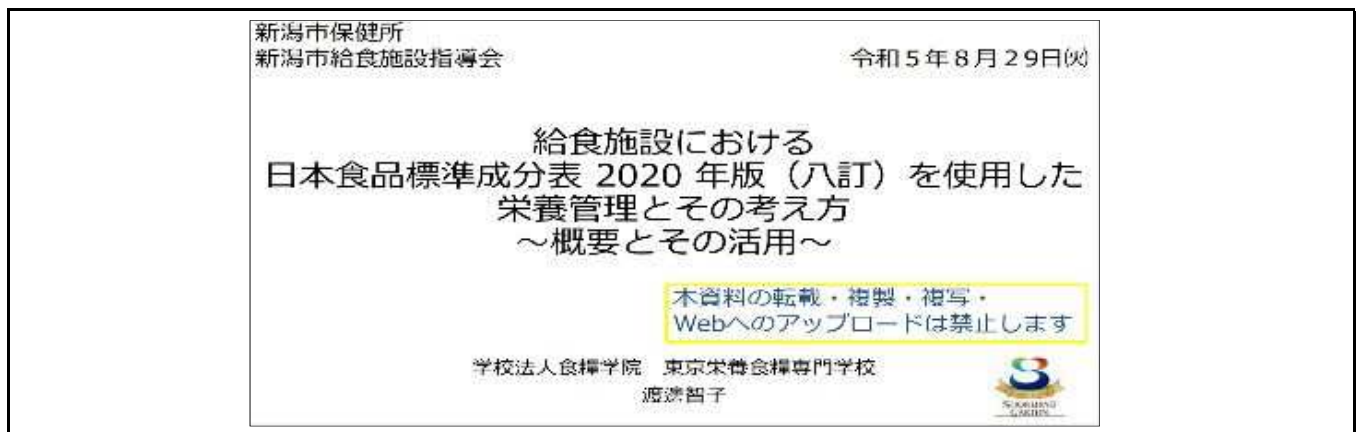
	
講義の様子	調理の様子

担当課	西地区公民館
-----	--------

事業名等	給食施設指導会の開催		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(5) 職場における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	給食施設に携わる関係者を対象に栄養管理に関する講習会を実施し、給食を通じた健康づくり及び健全な食事提供を図るための支援をする。
R5年度実績・成果	給食施設の管理者、管理栄養士、栄養士、調理師、調理従事者等を対象に、新潟シティチャンネル（YouTube）による講習会を期間限定で開催 【内容】 ・講演 給食施設における日本食品標準成分表2020年版（八訂）を使用した栄養管理とその考え方～概要とその活用～ ・申込数191施設
課題・今後の方向性	今後も指導会の開催は継続するが、開催方法は受講申込者のみ新潟シティチャンネル（YouTube）で限定公開とする。

【取組の様子】

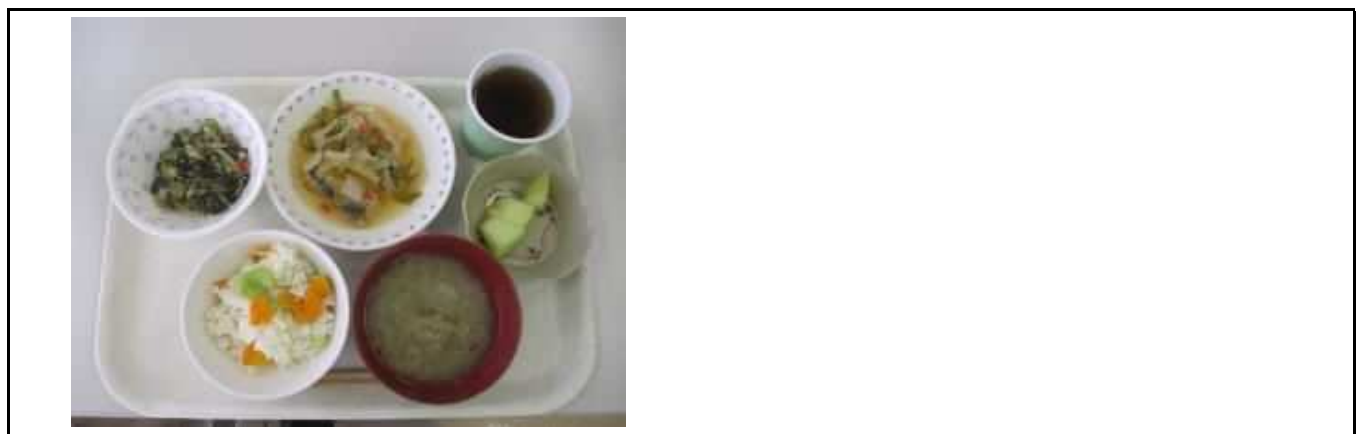


担当課	保健所食の安全推進課
-----	------------

事業名等	明生園 「旬の食材を用いた行事メニューの提供」		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(5) 職場における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	●月の取り組みを活かし、月の給食行事メニューで季節感を感じてもらう。
R5年度実績・成果	●月の食育の日（19日）は、旬の食材を使い食育メニューを提供した。 ●6月4日歯と口の健康週間に、それに合わせたメニューを提供した。
課題・今後の方向性	●今後も継続し、給食から季節を感じられるよう、食育の日メニューも状況を見ながら更新していく。

【取組の様子】



担当課	障がい福祉課 新潟市立明生園
-----	----------------

事業名等	主催料理教室の開催		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(6) 拠点施設における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟で生産される米、野菜、果物、魚など本市の特色である新鮮で多様な食材を組み合わせた調理体験を通じて、食育を推進する。 ・「食育」「食文化」「食品ロス」「料理方法・技術」などについて、安全で楽しく学べる料理教室を開催する。 ・親子・家族・食文化に関心を持っている方・調理法を学びたい方など、多様な対象者のニーズにこたえる料理教室を開催する。 		
R5年度実績・成果	<p>様々なテーマの料理教室を開催。 県立大学生考案による4月「エコクッキング」や3月スタッフ教室の「親子でしゅうまいを作ろう」、にいがた製菓・調理専門学校えぷろん8月「親子で楽しいパン作り」、新潟調理専門学校11月「米粉を使った親子教室」など大学・専門学校と連携し、昨年に引き続き教室を実施した。</p> <p>実施回数：73回、参加人数：1,755人であった。</p>		
課題・今後の方向性	SDGsをテーマに講師の先生や医療福祉大学、県立大学、アグリパークと連携し教室を開催する。		

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課（食育・花育センター）
-----	--------------------

事業名等	食育ミニ体験の実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(6) 拠点施設における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 新潟の多種多様な食材・食文化・健康づくり等の実践につながるプログラムの体験を通して、子どもたちを中心とした市民の心と身体の健康や豊かな人間性を育む。 年中行事や季節感をふまえ、気軽に・楽しく食や食文化について学べる「食育ミニ体験」を企画・開催する。 		
R5年度実績・成果	<p>予約不要で短時間で行える食育ものづくり（工作）や調理体験に加えて、予約制で動物やこども、マーケット等とコラボした長時間の教室を開催した。また、こども創造センターへ出張し、ものづくりを実施。県立大学の学生考案によるオリジナルドリンクや米粉で作るおかずパンケーキを実施。</p> <p>年間150回、体験者数4,988人（その内コラボ 18回）</p>		
課題・今後の方向性	<p>土日、祝日など、子どもや親子等が気軽に参加しやすい日程で、定期的に食育ものづくりも含め開催する。</p> <p>今後もセンターで採れた野菜や果物を使った新しいメニューを開発し、来館されたお客様が気軽に食育体験をしていただけるようにしたい。</p>		

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課（食育・花育センター）
-----	--------------------

事業名等	団体体験プログラムの実施		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(6) 拠点施設における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食と花をメインテーマに、多様な体験を通して学ぶことにより、心と身体の健康や豊かな人間性、生きる力を育む。 ・豊かな自然環境に囲まれ複合的な機能をもつ「いくとぴあ食花」を、校外学習の場として提供する。 ・団体体験プログラムでの楽しい体験を家族等における活動のきっかけにしよう。 ・校・園での利用がしやすいように、「団体体験プログラム集」を市内全校・園に配布するとともに、HPでの紹介やバスの助成を行う。 ・集団活動の重要な目的である「人間関係能力の育成」につながるようにする。
R5年度実績・成果	<p>小学校、幼稚園、保育園・こども園を対象に「食育・花育はかせになろう」「手づくりアイスクリーム」「ぽっぽ焼き」などのプログラムを実施した。希望する学校に出向いて行う「出張プログラム事業」も1団体から要望があり実施した。</p> <p>(延べ96団体、2,508人)</p>
課題・今後の方向性	<p>楽しさと学びのあるプログラムを実施し、繰り返しの利用を促進する。昨年より19団体、517人で利用は増えてきているが新規の団体に利用していただけるよう検討していきます。</p>

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課（食育・花育センター）
-----	--------------------

事業名等	食の情報展示		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(6) 拠点施設における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	来館者が体験的に学べる展示物や体験コーナーの設置と館内ガイドにより実践に役立つ継続的な情報発信を行う。		
R5年度実績・成果	<p>展示スペースを活用した来館者への食品表示の普及啓発として新潟市保健所と連携して展示を行った。さらに展示を利用したワークショップも8大イベント（クリスマスフェスタ）で実施し、多くの方に表示について知っていただくきっかけとなった。</p> <p>ガイド： 30件、687人 自由見学： 200件、5,914人</p>		
課題・今後の方向性	6年度は展示スペースの改修を含め、専門学校とも連携し今後も実践に役立つ情報の発信に努めていく。		

【取組の様子】

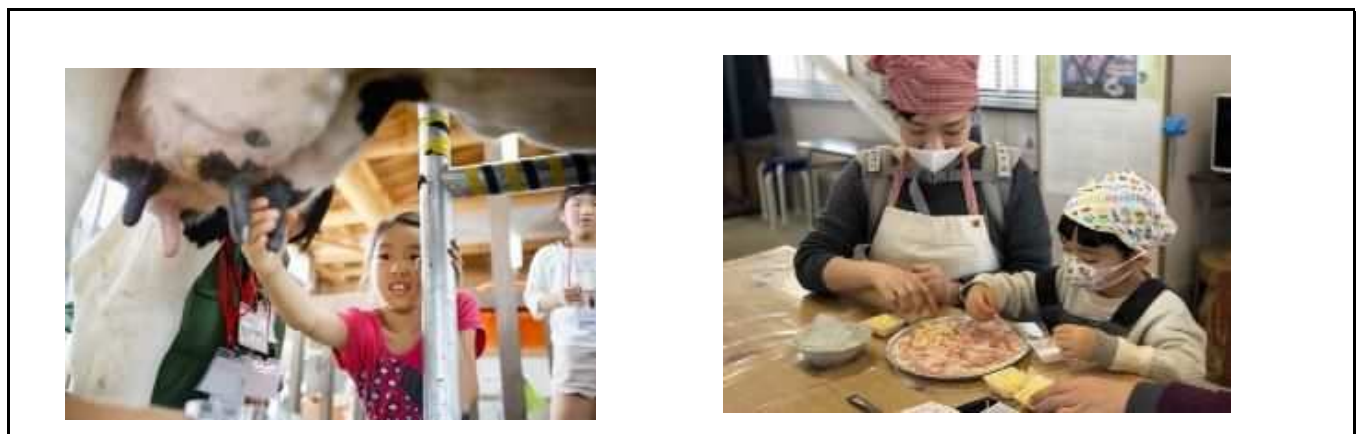


担当課	食と花の推進課（食育・花育センター）
-----	--------------------

事業名等	アグリパーク体験事業		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(6) 拠点施設における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	農業に触れ、親しみ、学ぶ場を提供する教育ファームとして、児童・生徒や一般の方に農業の楽しさや大切さを学んでいただくとともに、生産者に対して食品加工に係る支援を実施することで農業の振興に寄与する。
R5年度実績・成果	石窯を使ったピザ作り、専門講師を迎えて地域の特色を活かした調理講座、野菜の収穫体験、牛の搾乳体験のほか、食と農に関わるイベントなどを開催した。 参加者数：38,003人
課題・今後の方向性	①アグリパークの特色を活かしたうえで、SDGsと関連付けた体験をサポートする。 ②地元農産物を使用した商品開発のため関係機関と連携を図るとともに、米粉加工技術の展開について可能性を探るなど6次産業化支援に努める。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課（アグリパーク）
-----	-----------------

事業名等	キャラクターの活用		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(7) あらゆる広報媒体を活用した食育の普及啓発、情報の発信		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	新潟市食育・花育推進キャラクター「まいかちゃん」を、印刷物や掲示物に活用したり、SNSでの発信やホームページでの紹介など積極的に活用した。
R5年度実績・成果	イラストを各種普及資材等に活用した。 また、まいかちゃんをナビゲーターとして、本市の食と花の旬の情報や生産者の取組などをわかりやすく発信することで、若い世代を中心とした幅広い層への普及啓発につなげた。
課題・今後の方向性	今後も広く活用していただけるよう、継続して周知していく。

【取組の様子】

 <p>まいかちゃんシール</p>	 <p>まいかちゃんウェットティッシュ</p>	 <p>SNSを活用した情報発信</p>
--	--	---

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	健康レシピ等の掲載		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(7) あらゆる広報媒体を活用した食育の普及啓発、情報の発信		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	各種媒体を活用し、減塩や生活習慣病予防についての情報提供をすることで、家庭での実践や料理づくりの行動につなげる。
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市報にいがた 別冊情報ひろばに4～10月は「フレイル予防応援レシピ」（月1回）を掲載。12月からは減塩対策とし「ちょいしおレシピ」（月1回）の掲載を開始し、情報発信を行った。 ・クックパッドやホームページ、LINE等に健康をテーマにしたレシピを掲載。
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】



大豆のごまマヨあえ

★材料(2人分)★
 大豆マヨネーズ 大さじ2杯(100g)
 白ごま油 大さじ1杯(10g)
 白ごま 大さじ1杯(10g)
 塩 少々
 酢 大さじ1杯(100g)



もちろみ入りトマトと卵のスープ

★材料(4人分)★
 もちろみ 1パック(100g)
 トマト 2個(200g)
 卵 2個(100g)
 だし汁 2杯(400g)
 塩 少々

担当課	保健所健康増進課
-----	----------

事業名等	食生活改善推進委員作成のレシピの掲載		
基本施策	地域における食育の推進		
施策内容	(7) あらゆる広報媒体を活用した食育の普及啓発、情報の発信		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>1. 江南区役所だよりに、年4回、食生活改善推進委員が作成したレシピを掲載。</p> <p>2. 江南区役所フェイスブック（平成28年7月開設）に年6回、食生活改善推進委員が作成したレシピを掲載。</p>
R5年度実績・成果	<p>江南区役所だよりに、年4回、食生活改善推進委員が作成したレシピを掲載。江南区役所フェイスブックに年6回程度、食生活改善推進委員作成の健康レシピを掲載。</p> <p>→江南区役所フェイスブック： https://www.facebook.com/konanwardniigata/</p>
課題・今後の方向性	<p>江南区役所だよりに掲載するレシピについては、江南区の特産物を使用することとし、知名度アップや消費拡大に繋げたい。</p> <p>なお、食推委員より、委員数の減少によってフェイスブック向けのレシピ考案が大きな負担となっているとの申し入れがあった。区だより掲載内容を充実させる一方で、フェイスブックへの投稿については廃止する方向で検討中。</p>

【取組の様子】

 <p>江南区役所フェイスブック掲載状況</p>	 <p>江南区役所だより掲載状況</p>
---	---

担当課	江南区地域総務課
-----	----------

2 家庭における食育の推進

事業名等	家庭・地域との連携強化		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	給食だよりや保護者試食会を通して、食に関する知識や地産地消の取組等を周知することで、家庭・保護者への普及啓発を図る。
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校・学校給食センターにおいて給食だよりや食育だより等を発行し、家庭・保護者に対して食に関する知識などの啓発を図った。 ・食に関する指導について、各学校が授業内容や取組について周知することを通して、保護者の興味関心を高め、連携した取組が実施できるようにした。
課題・今後の方向性	今後も継続していく。保護者試食会などを通じた啓発活動も行っていく。

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	歯っぴーすまいるプロジェクト		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	東区の歯科保健の健康課題であるこどものむし歯罹患状況の改善に向け、令和2年度より、こども食堂、認可保育園・認定こども園・幼稚園、放課後児童クラブ等と連携し、歯と食育の健康相談会・むし歯予防教室を開催し、むし歯予防の啓発とともに、食と健康づくりに関する啓発、個別相談を実施。		
R5年度実績・成果	「歯と食育の健康相談会」を区内9か所のこども食堂で実施、イベント等で4回実施。身近な食品に含まれる塩分・糖分量のフードモデルや、清涼飲料水等に含まれる砂糖の量を掲示して啓発。希望者へ栄養士による個別相談を実施した。		
課題・今後の方向性	歯と食育に関する興味や意識向上につながっているため、今後も継続していく。		

【取組の様子】



担当課	東区健康福祉課
-----	---------

事業名等	親子ヘルシーランチクッキング		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣獲得層である小学生への健康づくりの意識向上を図る機会とし、調理体験や栄養講話を通して作る楽しみの中から栄養バランスを学び、小学生自身および家族が健康について考えるきっかけを作ることとする。 ・ 新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科と連携し、学生が中心となり、調理体験および栄養講話の内容を企画・実施する。
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員10組に対し7組が参加。 ・ 「朝食」をテーマに、朝食の大切さや主食・主菜・副菜のそろえ方、について講話をし、朝食作り体験（子どものみ調理実習）を実施。 ・ 保護者向けの栄養講話では、グループワークを再開した。
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して実施予定。 ・ 事業を広く周知するため、周知方法の検討が必要。 ・ グループワークでは、学生もグループワークに参加するなど、学生と参加者が交流できる内容の検討が必要。

【取組の様子】

	
* 料理は事前に撮影したもの	

担当課	東区健康福祉課
-----	---------

事業名等	西蒲区特色ある区づくり事業 にしかん健康プロジェクト		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	健康寿命延伸に向けて、西蒲区の地域特色を反映し作成したパンフレット（栄養・体操・お口の健康、ウォーキング手帳）を用いて、区民に向けて「減塩」や「野菜の摂取」「運動習慣」の大切さを周知する。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやレシピカードを西蒲区内各所に配置。加えて、母子・成人事業において配布、健康教室で使用するなど広く普及啓発を実施 ・若い世代に向けた区民参加体験型事業（レシピ投票）を実施（申込数：夏期16件/冬期23件 計39件） ・区内の希望した園・子育て支援センター・小・中学校に対して、作成したパンフレットを使用したお口の健康教育を実施 ・9月から11月までの歩数を記録して提出する「ウォーキングチャレンジ」を実施（元年度～継続） ・1歳誕生歯科健診での栄養相談を実施（R2年度～継続） ・安産教室内の骨密度測定と骨粗しょう症予防相談会を実施（R3年度～継続） ・コミ協主催のイベントで若年層を重点ターゲットとした骨密度測定、健康に関するクイズを実施（骨密度測定：78名、西蒲健康クイズ：123名） ・西蒲区内の高校で生徒や保護者を対象とした骨密度測定と食育クイズを実施（80名） 		
課題・今後の方向性	・若い世代（特に子育て世代）への普及啓発が課題。		

【取組の様子】

		
【栄養】パンフレット	【歯科】パンフレット	【運動】ウォーキング手帳

担当課	西蒲区健康福祉課
-----	----------

事業名等	給食だよりの発行		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	保育施設給食における地産地消の取り組みや食に関する知識などを普及するため、各保育施設において給食だよりを発行した。
R5年度実績・成果	各保育施設で給食だよりを発行し、食に関する知識などの普及を図った。
課題・今後の方向性	今後も継続する。

【取組の様子】



担当課	幼保支援課
-----	-------

事業名等	ゆりかご学級交流会		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>開催目的：幼児食に大切な栄養について学ぶ。参加者同士交流し仲良くなる。</p> <p>日時：令和5年12月12日（火）午前10時～10時30分</p> <p>会場：豊栄地区公民館</p> <p>講師：栄養士 田中富恵、食生活改善推進委員協議会</p> <p>参加者：親子8組</p>
R5年度実績・成果	<p>コロナ禍以来実施することが困難であった『試食』ができた。お仕事を持っている保護者が多い中、簡単に作れるパッククッキングは好評だった。</p>
課題・今後の方向性	<p>パッククッキングを初めて知る人が多く、知ることができて良かったと好評だった</p> <p>ので次年度は幼児期家庭教育学級で、実際に保護者に作ってもらい、試食する回を設ける予定。</p>

【取組の様子】



担当課	豊栄地区公民館
-----	---------

事業名等	横越地域学「うんめ～横越。こどももおとなもいただきます。」		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>横越で育まれている食（農産物）とそこに関わる人たちの想いに触れるとともに、食を通して横越の未来（暮らし）について考える。</p> <p>【内容】</p> <p>▼1回目 お話をきく。「食の宝庫 うんめ～横越。～この地で育てて、売って、輝いて」</p> <p>▼2回目 料理をつくる。「うんめ～横越でつくる家庭料理」</p>		
R5年度実績・成果	<p>▼講座 2回連続講座</p> <p>▼対象 小学生とその保護者</p> <p>▼参加人数 2組4名</p> <p>▼アンケート 満足度100%。今後参加したい100%</p>		
課題・今後の方向性	<p>参加人数が少なく、事業の浸透・広がりには至らなかった。料理づくりから食育につなげる場であるとともに、親子の交流と子どもの社会体験の場として一定の成果が見られた。次年度以降、地域や学校、関係機関・団体等と連携し、子どもたちの食育推進の観点から事業のボトムアップを図っていく。</p>		

【取組の様子】



担当課	横越地区公民館
-----	---------

事業名等	男性料理教室 魚の捌き方と一品料理		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	魚の目利き、さばき方、おいしく見える盛り付け方まで学び、食に対する関心を深めてもらう。
R5年度実績・成果	魚の捌き方をテーマにしたため、普段比較的公民館に来ないような世代（30、40代男性）の参加が多かった。また、魚の捌き方のほか、食材を丸ごと無駄なく使い切る調理法についても学んだ。参加者同士和気藹々とおしゃべりをしながら参加しており、参加者アンケートの満足度は100%であった。
課題・今後の方向性	今後も多様な世代やニーズに応じたメニューを考えながら食育事業を充実していく必要があると考える。 また、魚は当日捕れないこともあるので、魚の種類に応じたレシピをいくつか用意する必要がある。

【取組の様子】



担当課	黒埼地区公民館
-----	---------

事業名等	イカをさばいてパスタランチをつくろう！		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	父親と小学生を対象とし、食や健康への関心を深めるとともに、親子で協力して物事を成し遂げる達成感を味わってもらうことを目的とする。「火」・「包丁」を安全に使うことを学ぶほか、命をいただいていること、食材全て使い切るということについて親子で考えるきっかけとする。
R5年度実績・成果	コロナ禍にも拘らず、募集定員に対し約2倍の応募があった。イカを触ったことの無い参加者がほとんどであったが、全員が真剣に取り組んでいた。最後に「人は命をいただいている」という話をしたら、全員がうなずいていた。クリスマス前に実施したため、「クリスマスにまた作って家族にご馳走したい」という声もあった。
課題・今後の方向性	父親と子どもの食育は将来の健康のために重要なテーマであると考えている。今後も魚を捌くなど、家ではできないような体験を公民館で実施することは大切であると考えている。

【取組の様子】



担当課	黒埼地区公民館
-----	---------

事業名等	キッズパティシエ教室 バレンタインケーキ作り		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	ケーキ作り職人を講師にケーキのデコレーションの体験をすることで、一人で最後まで作り上げる達成感を味わってもらう（新潟県職業能力開発協会との共催事業）。
R5年度実績・成果	ものづくり職人の技を間近で見られたことは子どもたちにとっては良い経験となった。ケーキのデコレーションのみであったが、各自真剣に取り組み、アンケートによる満足度も高かった。
課題・今後の方向性	R4年度はクリスマス時期、R5年度はバレンタイン時期に実施したが、季節に合わせた菓子・料理教室を実施し、日本文化と食を組み合わせた事業も検討したい。

【取組の様子】



担当課	黒埼地区公民館
-----	---------

事業名等	にいがた市民大学「家族みんなのための栄養学－実践的な工夫－」		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(1) 望ましい食習慣や知識の習得		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>市民の学習ニーズ、時代や社会の変化、新潟の地域特性等に応じた学習機会を提供するため、平成6年から「にいがた市民大学」を開設し、多様なテーマの講座を実施している。</p> <p>令和5年度は「家族みんなのための栄養学－実践的な工夫－」をテーマに全5回の連続講座を実施。手の込んだ料理でなくても、栄養バランスを整えて豊かな食生活を実現するため、世代別の注意点や、実践に活かせるノウハウを学んだ。</p>
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：49名 ・受講者アンケートの満足度は、80.0%が「満足」または「やや満足」と回答。また、学んだことを今後活かしていきたいかという設問では、95.0%が「多いに思う」または「ある程度思う」と回答。栄養や食に対する意識改善につながったものと考え。
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・にいがた市民大学は、毎年、講座のテーマを変えて実施しているため、今後、食に関する講座を実施するかどうかは不透明。 ・テーマに興味がある市民を把握することが難しく、効果的な周知が行えないことが課題である。

【取組の様子】



担当課	生涯学習センター
-----	----------

事業名等	妊産婦・乳幼児に関する食生活指導・相談		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(2) 妊産婦や乳幼児に関する食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	妊娠期・乳幼児期からの望ましい食習慣の形成と健康保持増進を図るため、食生活における相談や指導を行う。
R5年度実績・成果	はじめての離乳食、ステップ離乳食、母子保健事業(1歳6カ月健診、3歳児健診、育児相談、安産教室等)の実施を通して、乳幼児・妊娠期からの望ましい食生活について、相談及び指導を行った。 また、保育者に対して、家庭における子どもの食育の重要性について啓発を行った。
課題・今後の方向性	継続実施

【取組の様子】

R5離乳食講習会チラシ



担当課	保健所健康増進課、各区健康福祉課
-----	------------------

事業名等	SNS等を活用した食育情報の発信		
基本施策	家庭における食育の推進		
施策内容	(3)在宅時間を活用した食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】食で健康になる

事業目的・概要	若い世代を中心とした取組として、公式SNSやクックパッドを活用し新潟市の旬の農産物を中心とした食育レシピ、食育情報、「食育の日」協力店のPR等を掲載することにより、食に関する意識向上を図る。
R4年度実績・成果	SNSを活用した食育情報投稿数:39回 クックパッドレシピ掲載数:28回 クックパッドレシピ閲覧数:約43.5万回 地域での食育活動や学校給食情報等も掲載し、市民へ向けた多様な情報発信につながった。
課題・今後の方向性	食に関する多様な情報の収集を常に心がけながら、継続して定期的な情報発信を実施していく。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

3 学校、保育所等における食育の推進

事業名等	菌ちゃんリサイクル元気野菜づくり		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(1) 保育所等における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>普段は捨てるはずの野菜くずを活用して、ゴミではなく無駄なものはないこと、小さくて見えない微生物（＝親しみを込めて「菌ちゃん」）である菌ちゃんを感じてもらったり、菌ちゃんがいっぱい土で元気な野菜が生長する姿を子ども達に自分の姿と置き換えてもらったりして、子ども達の感性を育てていくことを目的としている。</p>
R5年度実績・成果	<p>16園で、野菜くずと微生物（菌ちゃん）を活用した野菜づくりを行った。園が自立して土づくりを実施できるよう、保育士・教諭向け研修会を年2回、2か所（アグリパーク、いくとぴあ食花）で開催した。野菜づくりの取り組みを広げるため、いくとぴあ食花で市民向け講座を1回実施した。</p>
課題・今後の方向性	<p>園が自立して土づくりや野菜づくりができるよう支援体制を整える必要がある。今後は、保育士・教諭向け研修会の中で土づくりマニュアルの配付や、園同士で情報交換の場を設け、保育士・教諭向けの研修会の内容をより充実させていく。</p>

【取組の様子】

	
野菜くずを細かくしている様子	分解された土を切り返している様子

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	食に関する体験活動機会の提供		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(1) 保育所等における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	市内保育施設において、クッキング保育や野菜の栽培など、食に関する楽しい体験活動の機会を提供した。		
R5年度実績・成果	クッキング保育の実施 例：給食の下処理（皮むき・すじとり・カット等）・ピザ・ スイートポテト・カレー・ホットケーキ 野菜の栽培 例：ピーマン・さつまいも・きゅうり・なす・トマト・枝豆・ オクラ・ジャガイモ		
課題・今後の方向性	今後も継続する。		

【取組の様子】

なし

担当課	幼保支援課
-----	-------

事業名等	保育施設職員を対象とした研修会の開催		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(1) 保育所等における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	市内保育施設を対象に、食品衛生研修会、食育研修会を企画・開催した。		
R5年度実績・成果	食品衛生研修会を開催（動画研修） 内容：保育施設における食事提供の手引きの改訂について 食育研修会を開催（動画研修） 内容：子どもの誤嚥・窒息防止		
課題・今後の方向性	今後も継続する。		

【取組の様子】

担当課	幼保支援課
-----	-------

事業名等	南区の実りをいただく日		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(1) 保育所等における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>子どもの頃から様々な体験を通して、食に関する知識と食を選択する力を修得し健全な食生活を実践することにより、健やかな子どもに成長することを目的としている。</p> <p>南区内の市立保育施設において、毎月13日(み・な・み=3+7+3=13)を「南区の実りをいただく日」として、地域の生産農家や園の畑での栽培・収穫体験、地域住民や生産者を招待した集会の開催とそこでの園児自身による活動発表等を行っている。さらに、各園の取り組みを毎月区役所だよりへ掲載し、区民へ広く周知することで食育についての啓発を図っている。</p>
R5年度実績・成果	<p>園児が栽培したい野菜を選び、栽培しながら成長の様子を観察し、収穫後の野菜は、園で調理して味わった。また、地域の農家の方から野菜の話を聞いたり、クイズを行うことで、食への興味関心を高めることにつながった。</p> <p>実施園 南区内市立保育施設 12園</p>
課題・今後の方向性	<p>今後も各園が地域の生産農家等とのつながりを持ちながら継続していく。</p>

【取組の様子】

	
近所の方から野菜の説明を聞く	クイズに挑戦

担当課	南区健康福祉課
-----	---------

事業名等	こどものうちからSDGs in 南区 (①生ごみ堆肥化→②堆肥を使った種植え→③収穫&給食)		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(1) 保育所等における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>未来を担う子どもたちを対象に、誰でも、身近で、簡単に取り組める段ボールコンポストでSDGs教育を実施し、今後の環境問題等へ取り組みのきっかけづくりとするもの</p> <p>○令和5年度取り組み内容（区内3園、児童館1館で実施） 保育園…生ごみ堆肥化・堆肥を使った種植え・収穫&給食の3回イベント実施 児童館…希望する小学生を対象に生ごみ堆肥化（自由研究）・堆肥を使った種植え・青空市場で野菜を提供の3回イベント実施</p>		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsは誰でも、身近で、簡単に取り組めることを、マスコミや市のSNS、区だより等で広くPRすることができた。 ・家族で再度堆肥化に取り組まれた。 ※関連する段ボールコンポスト販売実績 R5:1個、R4:8個、R3:3個 ・園児たちはサイチヨの着ぐるみや映像や踊りも取り入れ、楽しく学んでくれた。 		
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のマンパワー不足（定期巡回、天候等による生育不良への対応、野菜のコピー栽培など） ・保育園の維持管理の負担軽減（維持管理しやすい野菜の選定、管理方法の指導や地域の協力者との連携） ・小学生は、習い事等が優先され、日々の観察等へのフル参加は困難 		

【取組の様子】

		
①園児が段ボールコンポストで生ごみを堆肥化	②できた堆肥を使って野菜の種植え	③収穫した野菜を給食で食べている様子

担当課	南区区民生活課
-----	---------

事業名等	新潟発 わくわく教育ファーム推進事業 (「アグリ・スタディ・プログラム」の推進)		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	学習と農業を結び付けた独自の農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」を推進し、子ども達に本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛着や誇り、生きる力を培う。
R5年度実績・成果	市内107ある全ての小学校で農業体験学習を実施した。
課題・今後の方向性	季節によって利用が偏っており、冬場の利用が少ないことが課題。教員向け研修等でアグリパークに導入した米粉製粉機の活用や、冬場も利用できるプログラムを紹介し、冬場の利用増加を図る。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	「食と農のわくわくSDGs学習」推進事業		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	主に小学校高学年～専門学校・大学を対象とした食と農に関する探究的な学習を推進し、本市の豊かな食や農への理解を深め、地域への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、本市の農業や食品産業を支える人材づくりにつなげる。
R5年度実績・成果	モデル校を小学校から大学までの12校に拡大し、学習の伴走型支援を行った。さらに、学習に活用するため、実践事例集や教材となる動画を作成し、微細粉の米粉製粉機を導入した。
課題・今後の方向性	実施校の学習を支援するとともに、教材用動画や微細粉の米粉製粉機の活用を図ることで新たな実践事例を増やし、実施校の増加につなげる。

【取組の様子】

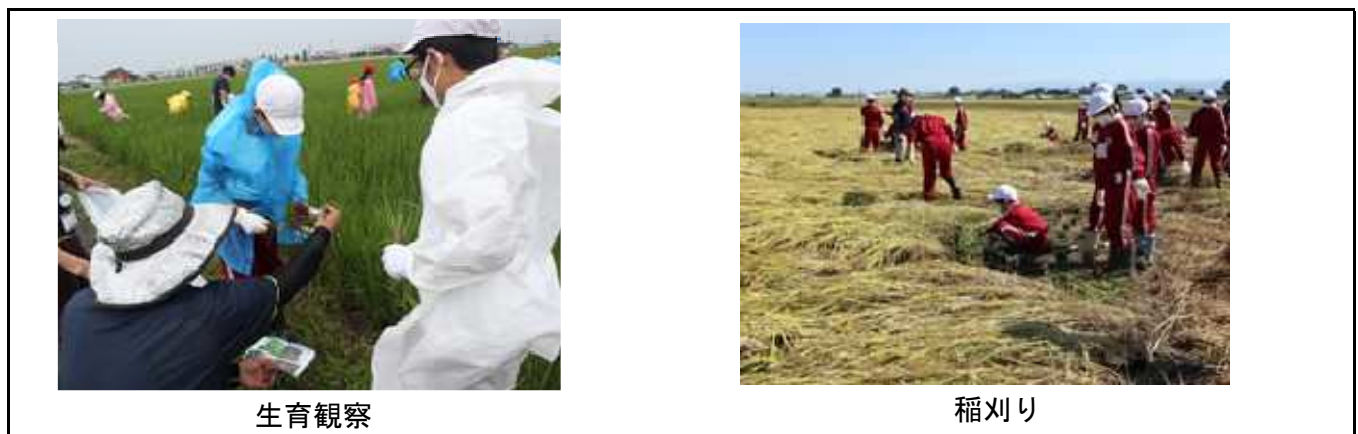
	
米作りでのドローンの活用を学習	区長に発表、提言、質問

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	学校教育田設置事業		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	田植え・稲刈り及び収穫祭等、年間の米づくり体験を通じて、米の消費拡大と次世代を担う子どもたちに農業および米に対する理解を深めてもらうとともに、米を中心とした日本型食生活の普及及び定着を図る。
R5年度実績・成果	学校教育田の設置に係る費用を助成した。 実施校数 75校 取組面積 515.63a
課題・今後の方向性	米づくり学習がより深い学びとなるよう、スマート農業や米粉に関する動画の活用を推進していく。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	こども食育新聞の発行		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食に関する情報をテーマとした、小学生向け情報紙「こども食育新聞」の発行を通して、子どもたちに食に関する情報をわかりやすく伝え、食に関心をもってもらうことを目的とする。
R5年度実績・成果	「新潟市でとれる食材」「かきのもと」「東と西の食べ物比べ（リメイク版）」「越後姫」をテーマに計4回発行し、小学校・中学校・学校給食センター・保育施設等へ配信した。なお、「新潟市でとれる食材」号については、ポスターサイズで印刷し、各校へ配布した。
課題・今後の方向性	多くの学校で活用していただけるよう、アンケート等で学校側が求めるテーマを把握し、新聞作成に反映させていく。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	栄養教諭等資質向上のための研修		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食に関する指導の充実のため、研修を通して栄養教諭等の資質向上を図る。		
R5年度実績・成果	栄養教諭等を対象に食育推進運営研修を年2回開催した。 7月 ・専門性を生かした食育の推進、給食管理・衛生管理について ・個別的な相談指導について 12月 ・食に関する指導の評価と分析について		
課題・今後の方向性	今後も実態に即した研修を実施し、栄養教諭等の資質向上を図る。		

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	学校における食に関する指導の充実		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	学校における食に関する指導を実施することを通して、正しい知識と情報に基づいて自ら判断できる力を身に付けられるようにする。
R5年度実績・成果	<p>○給食の時間における食に関する指導 給食を通して・食料の生産、流通、消費・食品の種類や特徴・栄養のバランスのとれた食事について指導を行った。</p> <p>○教科等における食に関する指導 各教科等において食育の視点を位置付け、意図的に指導を行った。</p>
課題・今後の方向性	今後も継続していく。指導がしやすい環境づくり（指導資料の提供等）を進めていく。

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	教職員を対象とした研修会の開催		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	学校における食育を推進するため、研修等を通して教職員の意識啓発を行う。		
R5年度実績・成果	<p>全校・園の給食主任を対象に給食主任研修を実施した。</p> <p>・主な内容 朝食摂取と睡眠コントロールについて市の意識調査結果を基に給食主任の意識啓発を行った。また、第34次研究推進校（両川小学校、両川中学校、味方小学校、味方中学校）の学校における食に関する指導の取組の発表を通して、自校における取組の参考になるようにした。</p>		
課題・今後の方向性	今後も継続していく。研究推進校の取組や好事例が横展開されるようにしていく。		

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	研究推進校の指定、「食に関する指導実践事例集」の作成		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	「自分の食を管理する力の育成」を目指し、食の理解と食の実践力を中学校区単位で高めるために、小学校と中学校が共通の研究主題を設定して、課題解決に向けて取り組みます。		
R5度実績・成果	<p>◎両川中学校区(両川小学校, 両川中学校)</p> <p>両川中学校区が小阿賀野川や信濃川近くに位置し湿地帯であった亀田郷の地理的・地質学的環境に着目し、地震や津波、水害などの防災学習と災害時の食に焦点を当て、日々の食について考える学習に取り組んできた。食育ミニフォーラムでは中越市民防災安全士会 女性部シュークリームより中越地震被災の時の様子と温かい食事の大切さについての講演の後、災害時に役立つポリ袋調理としてサンマ缶使用の味付きご飯と切り干し大根サラダを小中学生混合のグループで実際に調理をし、味わい、災害時の温かい食事の大切さについて実感することができた。</p> <p>◎味方中学校区(味方小学校, 味方中学校)</p> <p>小学校から生活科や道徳、総合的な学習の時間、家庭科の授業において、味方や南区の地場産物や食べ物に関わる人や歴史について学ぶとともに、実際に育て収穫し、献立を考え、調理し、食してきた。食育ミニフォーラムでは、南区の食の魅力～果物づくりを通して～と題し、大玉プラム栽培で見事ギネス記録に認定された地元南区のとみやま農園代表の富山喜幸様から、お客様が自分の作った作物を食べて笑顔で美味しいと言ってくれた時の感動を胸に、果樹栽培を行っているという熱い思いを参加した児童生徒全員で共有することができた。</p>		
課題・今後の方向性	<p>◎課題</p> <p>どちらの中学校区も地域に根ざした食育の取組を推進していた。しかし、ミニフォーラムでは、児童生徒の食習慣形成に欠かすことのできない保護者や地域住民の参加がなかった。今後、保護者や地域住民への積極的な啓発活動が必要と感じた。</p> <p>◎今後の方向性</p> <p>朝食摂取率の低下が止まらないことから、朝食摂取率の向上を中心的な目標とした食育推進の取組を行っていく必要がある。</p>		

【取組の様子】



担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	食育指導者の派遣		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	栄養教諭等が未配置の学校（スクールランチ実施校28校）に栄養士を食育指導者として派遣し、食の指導にあたる。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・14校・40回・3,577人の生徒に食育指導を実施。 ・保護者対象のスクールランチ試食会後に食育講演会を実施。（1校：72人） 		
課題・今後の方向性	<p>「成長期に大切にしたい朝食と睡眠」を指導メニューに新たに加え、朝食の効果や質を様々な視点から理解し、自分の生活と食事の改善点を考える機会となるよう指導を行った。タブレットを活用することで、生徒が自身の食生活についてより主体的に捉えるなどことができたり、家庭との連携が取りやすいと実施校からの声が届いている。今後も、朝食や睡眠、食文化等の理解を深められる食育の取組を推進する。</p>		

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	北区地場産物を使った食育学校支援事業		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	地場産農産物の利用拡大と食育の推進を図るため、北区内の小・中学校で地場産農産物を活用した食育活動について支援を行った。
R4年度実績・成果	小学校11校、中学校8校に支援事業の通知を行い、小学校5校、中学校2校で食育授業の取組みがあった。
課題・今後の方向性	この取組みは、区内の小中学校に定着しているため、今後も支援を継続する予定である。

【取組の様子】

担当課	北区産業振興課
-----	---------

事業名等	小学校収穫体験・生産者講話		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(2) 小・中学校における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食や農業に対する理解と関心を深める機会を提供し、食育を推進するため、西区内の小学3年生を対象に、大根の収穫体験とJA職員による生産者講話を実施した。併せて、大根を給食食材として提供した。		
R5年度実績・成果	令和5年10月5日（木）～10月31日（火） 実施校数 15校 参加児童数 1,209人		
課題・今後の方向性	今後も継続予定。		

【取組の様子】



担当課	西区農政商工課
-----	---------

事業名等	生きた教材となる標準献立の作成		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(3) 給食を通じた食育活動の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	毎日の学校給食を通して、児童生徒の食に対する興味関心を高められるようにする。		
R5年度実績・成果	<p>○生きた教材となる標準献立の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の地場産物を取り入れた地場産推奨献立 ・家庭で食べられなくなりつつある、郷土料理や伝統的な料理を取り入れた献立 ・年中行事や二十四節気などに合わせた献立 ・テーマ（いい歯の日など）に合わせた献立 <p>上記献立を各学校・学校給食センターで実施した。</p> <p>○11月を「米飯給食、地場産給食推進月間」とし、地場産献立を取り入れた「キラッと新潟米☆地場もん献立」を作成し、全市で実施した。</p>		
課題・今後の方向性	今後も継続していく。各区の特産物や料理を取り入れた献立を増やし、地域への愛着が深まるようにしていく。		

【取組の様子】

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	学校給食における地産地消の推進		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(3) 給食を通じた食育活動の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	学校給食に地場産物を積極的に活用し、地域の食材を知り、味わうことを通して、地域への愛着をもてるようにする。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・給食に使用する食材はできる限り国内産とし、可能な範囲で市内産・県産を優先的に使用するようにした。 ・農林水産部や各区役所と連携し、地場産給食事業を各学校・学校給食センターで行っている。 ・標準献立に、市内産農水産物を取り入れた「地場産推奨献立」を作成した。各学校・学校給食センターで地域の状況に応じてアレンジし、提供した。 		
課題・今後の方向性	今後も継続していく。献立を作成するとともに、学校・学校給食センターで献立を取り入れられるよう、地場産物の確保に努めていく。		

【取組の様子】

--

担当課	保健給食課
-----	-------

事業名等	コシヒカリ給食		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(3) 給食を通じた食育活動の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	次代を担う小学生に対し、食や農業に対する理解と関心を深める機会を提供し、地場産農産物の使用拡大と地産地消、食育を推進するため、西区内19の小学校給食の米を市内産こしいぶきから西区産コシヒカリにかえて提供した。		
R5年度実績・成果	令和5年11月8日、22日、12月13日、1月17日、24日、2月14日、2月28日、3月6日（計8回） 実施校数 19校		
課題・今後の方向性	今後も継続予定。		

【取組の様子】

担当課	西区農政商工課
-----	---------

事業名等	西区一斉いもジェンヌ給食		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(3) 給食を通じた食育活動の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	地場産農産物の良さを伝え消費拡大を推進するため、地元特産品である新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」を西区内の小学校に提供し、「西区一斉いもジェンヌ給食の日」を実施した。
R5年度実績・成果	令和5年12月15日（金）に各校で「いもジェンヌ」を使用したメニューを提供した。（西区内小学校：19校）
課題・今後の方向性	今後も継続予定

【取組の様子】



担当課	西区農政商工課
-----	---------

事業名等	西区保育施設いもジェンヌおやつ月間		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(3) 給食を通じた食育活動の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	地場産農産物の良さを伝え消費拡大を推進するため、地元特産品である新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」を西区内保育施設に提供し、「西区保育施設いもジェンヌおやつ月間」を実施した。
R5年度実績・成果	令和5年12月4日（月）～22日（金）に西区保育施設のおやつで「いもジェンヌ」を使用したメニューを提供した。（西区内保育施設：53施設）
課題・今後の方向性	今後も継続予定

【取組の様子】



担当課	西区農政商工課
-----	---------

事業名等	研修・ボランティアの受け入れ		
基本施策	学校・保育所等における食育の推進		
施策内容	(4) 高校、大学等における食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	中学校、高校、大学の生徒・学生を受け入れ、子どもたちに対する食育を推進するための体制づくりの検討をした。		
R5年度実績・成果	<p>インターンシップ（新潟大学農学部、県立大、開志専門職大学）や職場体験（さくら国際高校、明鏡高校、日本文理高校、関屋中学校、上山中学校、東石山中学校、鳥屋野中学校、亀田西中学校、新津第一中学校、新津第二中学校）の受け入れを行った。</p> <p>県立大生によるアルミホイルアートでキラキラ野菜カード作り、開志専門職大学生には8大イベントのチラシ表紙のアイデアを採用した。</p> <p>同じく8大イベントでは新大農学部の学生による（この肉、何の肉？）をテーマにプログラムを実施した。</p> <p>実習生は延べ49回、153人</p> <p>ボランティア活動として料理教室の補助やミニ体験の補助を行った。</p> <p>医療福祉大、青陵大、明鏡高校、他一般。</p> <p>ボランティア92回：92人</p>		
課題・今後の方向性	インターンシップ、職場体験も増加傾向にあり、ボランティアに関してもインターンシップ、職場体験を通して参加していただけており、今後も可能な限り受け入れ、食育推進につなげたい。		

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課（食育・花育センター）
-----	--------------------

4 環境に配慮した食育の推進

事業名等	農業サポーター推進事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(1) 農林漁業体験を通じた食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	野菜づくりや園芸を学びたい、健康づくりをしたい、とお考えの方から農業サポーターとして登録していただき、消費者と交流したい、農業に理解をもってほしい、労働者が不足しているという農家の農作業をボランティアで手伝っていただく制度。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受入農家数：44軒 ・ 農業サポーター登録者数：465人 ・ 延べ活動日数：3,286日 		
課題・今後の方向性	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サポーターの登録数は増加傾向にあり、受入農家登録軒数も増やしたい。 ・ 登録はしたが、実際の活動に参加できていないサポーターもいる。 <p>【今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業関連の広報誌等へ受入農家募集案内を掲載し、登録軒数増加を図る。 ・ 新規サポーターの継続的な活動につながるよう市ホームページ等を活用し、受入農家の活動内容を随時配信し、活動に参加しやすい環境づくりを図る。 		

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	給食への地場農産物供給事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(2) 地産地消の促進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>学校給食に地場産物を活用し、食に関する指導の教材として用いることにより、子どもがより身近に、実感を持って地域の食や食文化等について理解を深め、生産者等へ感謝の気持ちを抱くことにつながり、学校と地域との連携、協力関係の構築にも寄与する。</p> <p>保健給食課と連携し、野菜等の入荷および価格予測情報の提供や地場農産物利用促進策の検討、地域の実情に応じた地場農産物コーディネート事業を実施した。</p>
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地場農産物の利用割合（金額ベース） 県内産：59.9%、市内産：25.3% ・学校給食でよく使用する野菜等の入荷及び価格予測について、新潟中央青果(株)の協力のもと、学校栄養士や食材納入業者等へ毎月情報提供を行った。 ・地域の実情により地場農産物の入手が困難な地域（南区味方地区、西蒲区巻地区・潟東地区・中之口地区）で、地元生産団体から協力を受け、円滑に地場農産物が供給されるようコーディネートを実施。 ・R4年度に教育委員会と共催で実施した学校・給食センター栄養教諭との意見交換会にて、地場産農産物の教育資材について要望があり、「こども食育新聞 地産地消特大号」を発刊した。ポスターサイズで作成して各校に配布し、活用いただいた。
課題・今後の方向性	<p>地場産食材の活用を推進しつつ、学校給食を「生きた教材」として活用し、子どもたちの食に関する理解と関心を高められるよう取組を検討していく。</p>

【取組の様子】



SNSを活用した給食PR



こども食育新聞「地産地消特大

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	地産地消推進事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(2) 地産地消の促進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	新潟市内産農産物、水産物、畜産物及びその加工品等を積極的に取り扱う市内の小売店及び飲食店を新潟市地産地消推進の店として認定し、地産地消推進の取り組みを市民に周知することで、市内産農産物等への理解を深めてもらい地産地消の意識向上につなげ、その生産振興と消費拡大を図る。
R5年度実績・成果	地産地消推進の店の登録制度の実施により、店舗利用者による市内産農産物の魅力の再認識や消費拡大を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店141店、小売店107店 社員食堂14店 計262店 ・ のぼり旗やステッカー等販促資材の提供 ・ ホームページ等による店舗紹介
課題・今後の方向性	類似事業とあわせて、制度や今後の方向性を令和7年度から見直す予定。

【取組の様子】

<p>「地産地消推進の店」ロゴステッカー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
--

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	郷土料理レシピ集の発行		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	昔から伝わる新潟の家庭料理を次の世代に伝承するため、平成26年度末に郷土料理レシピ集「伝えたいにいがたの味」、平成27年度末に「続・伝えたいにいがたの味」、平成29年度末に「続々・伝えたいにいがたの味」を発行した。レシピは食育・花育センター主催料理教室のレシピから抜粋したもの。
R5年度実績・成果	食育・花育センターでの食育ミニ体験や料理教室等で配布を行った。また、各イベントでの設置や学生向けに配布を行うことで、本市の郷土料理に関する普及啓発を図った。
課題・今後の方向性	今後も継続しつつ、より多くの場面での活用について検討していく必要がある。

【取組の様子】



担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	新潟市食文化創造都市推進会議		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	新潟市の魅力である「食文化」をさらに磨きあげ、国内外に広く発信し、交流人口の増加や地域産業の活性化を図ることを目的に、産学官民が連携して立ち上げた「新潟市食文化創造都市推進会議」を運営する。会議の趣旨に賛同する企業・団体・個人を会員とし、会員が異業種連携して実施する取り組み（食文化創造都市推進プロジェクト）等への支援などを実施。
R5年度実績・成果	食文化創造都市推進会議会員数：342（令和6年3月31日現在） 食文化創造都市推進プロジェクト支援採択事業：3件 【取り組み内容】 ・料亭での親子向け食育体験 ・生産者と消費者のコミュニケーションを目的とした量り売りイベント ・市内製造の唐辛子を使用した辛いラーメンによる消費拡大プロジェクト
課題・今後の方向性	募集時の事前相談期間の設定や推奨テーマの設定など、より事業目的に合致した効果的なプロジェクトが申請・採択されるよう、引き続き支援を行っていく。

【取組の様子】

食文化創造都市推進プロジェクト支援採択事業
「親子で食育活動大作戦」「たねをまく ちいさな量り売りマーケット」「新潟ラーメン支出促進プロジェクト」





担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	若手料理人育成支援事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	市内で活躍する料理人を活用して市内農水産物や食文化をPRすることで、食で選ばれるまち新潟を目指すとともに、新潟の食分野の次世代を担う人材育成を目指す。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・若手料理人コンテスト2022受賞者による特別講義（調理師専門学校4校）実施。次代を担う学生が料理人として市内外で働く際に、新潟の食や食文化に誇りを持ち、積極的に地元食材の活用ができるよう講義を実施した。 ・若手料理人コンテスト受賞者に旬の食材を使用したレシピ考案を依頼し、「市報にいがた」で連載した。また、連載した8食材・レシピを1枚のリーフレットにまとめた「若手料理人おすすめ！新潟食材レシピ」を作成し、区役所等で配布及びHPやSNSで紹介した。 		
課題・今後の方向性	意欲のある料理人の発掘、発信の強化、観光分野との連携		

【取組の様子】

		
調理師専門学校における特別講義		新潟食材レシピ集

担当課	食と花の推進課
-----	---------

事業名等	食育の日		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	毎月19日の食育の日には、郷土料理や地場産の食材を使用した給食を通して、園児が様々な料理と出会い、地域の食文化を体験できるようにした。
R5年度実績・成果	毎月19日の食育の日には、郷土料理や地場産の食材を使用した給食を通して、園児が様々な料理と出会い、地域の食文化を体験できるようにした。毎月の食育の日の献立については、給食だよりに意図や使用食材を記載して保護者へ周知を図った。
課題・今後の方向性	今後も継続する。

【取組の様子】

※給食だよりの内容を一部抜粋



食育の日「さつまいもコロッケ」

今月の食育の日のおかずは、ほくほく食感とやさしい甘みのさつまいもコロッケです。
新潟市内では、西区で栽培される「いもジェンヌ」や、北区で栽培される「しるきーも」などのさつまいもが有名です。ホクホク系、ねっとり系など、いろいろな品種を食べ比べるのもいいですね。





食育の日『れんこん入りハンバーグ』

れんこんは「あなが開いていて先の見通しがよい」とされ、お祝い料理に欠かせない食材です。
れんこんは加熱の加減によって食感が変わり、さっとゆでたり炒めたりするとシャキシャキとした食感に、しっかり加熱すればホクホクした食感になります。すりおろすと粘りが出るのも特徴です。
今月の食育の日は、すりおろしたれんこんをつなぎに使った「れんこん入りハンバーグ」を提供します。ふっくらもちもちした食感を楽しんでください。



担当課	幼保支援課
-----	-------

事業名等	農村地域生活アドバイザー連絡会による味噌作り教室		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	手作り味噌の普及と伝統の継承を目的として、農村地域生活アドバイザーを講師に迎え、「岩室地区」・「巻地区」で、市民を対象に『味噌作り教室』を開催する。		
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・岩室味噌作り教室 (会場：岩室農村環境改善センター) 令和5年5月26日(金)・27日(土) 各午前・午後 計81名 ・巻味噌作り教室 (会場：JA新潟かがやき巻アグリセンター内農村婦人の家) 令和6年2月2日(金) 午前・午後 計12名 		
課題・今後の方向性	今後も継続し、伝統の継承と手作り味噌の美味しさを普及する。		

【取組の様子】

		
ゆでた大豆をつぶす様子	混合器から味噌の材料を取り出す様子	桶に隙間なく詰める様子

担当課	西蒲区産業観光課
-----	----------

事業名等	ふるさとかるた体験会 & なかのくち昔のごっつお団子汁試食会		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	戦後の食糧不足の時代に、くず米を石臼で挽いて、それを丸めて団子にした。当時は家族が多かったので大きな鍋にくず米の団子とたくさんの野菜を入れて冬から春にかけて食べていた郷土料理「団子汁」を新潟市食生活改善推進委員協議会中之口支部の協力を得て、かるた大会に参加した親子に市販の米粉を使用した「団子汁」を振る舞い、団子汁の歴史・作り方を学ぶとともに試食してもらい、食や食材の大切さを知ってもらう。
R5年度実績・成果	令和6年1月27日(土)開催 協力団体：中之口地区青少年育成協議会、中之口地区子ども会育成会連合会、新潟市食生活改善推進委員協議会中之口支部 会場：中之口地区公民館大会議室 参加者：27名(かるた参加者：親子9組18名、役員、食推) ・団子汁の説明とレシピの配布 ・参加者アンケートでは「とてもおいしかった7名、おいしかった2名」と好評いただいた。参加された方は、簡単に親子で作れそうなので今度挑戦したいとの感想あり。
課題・今後の方向性	コロナ感染症対策の関係から直近3年間中止していた事業で、「ふるさとかるた」「団子汁」を知らない子どもたちや親世代が増えてきており、令和5年度は参加者が18名とコロナ過前の49名から大幅に減少した。 令和6年度は参加者が少しでも増えるよう、学校や地域子ども会とも連携を図ると共に、引き続き食生活改善推進委員の協力を得ながら今後も地域の宝、食文化を伝承していく。

【取組の様子】

担当課	中之口地区公民館
-----	----------

事業名等	そうだったんだ女池菜～雪がもたらす街の宝物を食べてみよう～		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(3) 食文化の継承につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input checked="" type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	本市が誇るブランド野菜の一つ女池菜は、主に烏屋野地区で作付けされているが、農家の高齢化や後継者不足により生産者は減少し、宅地開発等により作付け面積も減少している。地域の宝物である女池菜を守り続けていくためには、農家自らの努力はもちろんであるが、地域住民がたくさん食することが重要である。座学と調理実習により地域の宝物「女池菜」への理解を深め、守っていくことを目的とする。
R5年度実績・成果	烏屋野地区公民館と上山小・烏屋野小・上山中の各校地域教育コーディネーターによる協働事業 ○内容 ①上山小学校3年生の取り組み②女池菜あれこれ③調理と試食 ○対象 上山中学校区在住の方 ○参加者数 15人
課題・今後の方向性	地域の食資源を守り後世に繋いでいくために、女池菜を栽培している上山小学校の取り組みを取り上げられたことはとても良かったが、今回共働で事業を実施した地域教育コーディネーターにとってかなりの業務負担となっており、実施主体の見直しが必要。

【取組の様子】

	
座学	調理実習

担当課	烏屋野地区公民館
-----	----------

事業名等	食品ロス削減推進事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(4) 食品ロス削減につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>世界的な課題となっている食品ロス削減について、本市でも食品ロス発生量の低減を目指し、啓発活動を中心に実施する。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ●エコレシピコンテスト…残りがちな料理のアレンジや余った食材を上手に活用したレシピコンテストの開催 ●クラダシチャレンジ…フードシェアリング事業者と連携し、都心部の学生を市内農家に派遣する社会貢献型インターンシップの開催 ●フレッシュフードシェア…農家から寄付された規格外野菜などを子ども食堂に提供 ●ごちそうさまキャラバン…家電メーカーや広告代理店と連携し、子ども食堂を舞台としたフードシェアプロジェクトを開催 ●広報啓発…講座やパンフレット等で、食品ロス削減方法やフードドライブなどの取り組みについて広報啓発を実施
R5年度実績・成果	<p>R5食品ロス量：22,398kg R11目標29,300kgを達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エコレシピコンテスト…応募者数100件。上位入賞のレシピ集を作成 ●クラダシチャレンジ…4名の県外学生が参加 ●フレッシュフードシェア…38回開催。約2tの規格外野菜等を提供 ●ごちそうさまキャラバン…2回開催 ●広報啓発…市民講座への講師派遣、清掃事務所出前講座等を実施
課題・今後の方向性	引き続き企業等との連携を模索し、食品ロス削減の取組を進める。

【取組の様子】

エコレシピコンテスト	クラダシチャレンジ	フレッシュフードシェア
		
ごちそうさまキャラバン	清掃事務所出前講座（小学校など向け）用動画	
		

担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	環境優良事業者認定制度		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(4) 食品ロス削減につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】食で健康になる

事業目的・概要	<p>【目的】 食品ロス削減に積極的に取り組む事業者を「新潟市環境優良事業者（ONEカンパニー）」として認定し、その活動を広く周知することで、環境に配慮した事業者の活動を推進し、事業者及び市民に食品ロス削減の意識向上を図る。</p> <p>【概要】 食品ロス削減を推進している事業者を評価・認定し、取り組み内容を市ホームページや広報紙などで周知するほか、事業者自ら発行する印刷物等に認定区分に応じたロゴマークの表示を可能としている。</p>
R5年度実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減部門…12者186事業所 (令和6年3月31日時点)
課題・今後の方向性	<p>○市内食品関連事業者の事業所数にして6割以上を占めているのが飲食店のため、食品ロス削減部門において特に飲食店へのはたらきかけに力を入れていく必要がある。</p> <p>○認定事業者の一部分しか積極広報できていないため、サイチョプレスで特集記事を組むなど、積極広報の機会を増やしたい。</p>

【取組の様子】



担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	消費者啓発講座「くらしの一日教室」		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(4) 食品ロス削減につながる食育の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	市民を対象に生活に関連する身近なテーマを選び、専門の講師による講義や実習を行う講座。 そのテーマの一つとして、食品ロス削減を啓発するため、「もったいない」を意識し日頃の食生活を見直す機会となるよう情報提供を行う。		
R5年度実績・成果	講座開催 6月21日 巻地区公民館 「食品ロス削減に向けて」 参加者1人		
課題・今後の方向性	食品ロス削減に対する市民の関心はあまり高いとは言えない状況にある。		

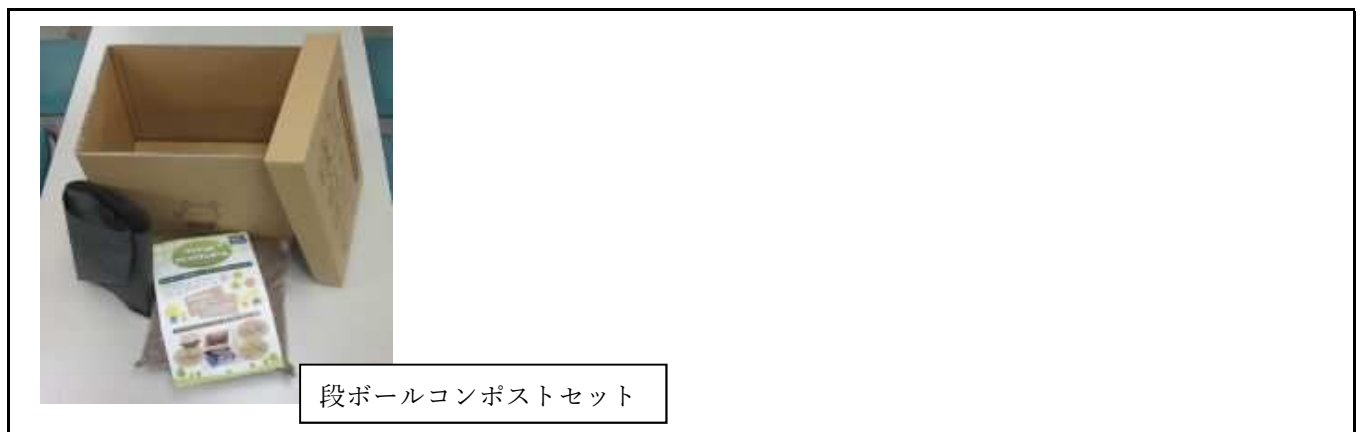
【取組の様子】

担当課	市民生活課消費生活センター
-----	---------------

事業名等	段ボールコンポスト普及啓発事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(5) 環境に配慮した消費の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	燃やすごみ（普通ごみ）の約4割を占める生ごみの減量・資源化を推進するため、家庭で手軽に取り組める市オリジナルの段ボールコンポストを製作し、平成27年10月から販売を開始した。 令和元年7月からは、段ボールコンポスト配送等業務を社会福祉法人へ委託している。 令和4年4月に田舟の里での販売を開始し、販売拠点を14カ所に拡充した。
R5年度実績・成果	販売拠点 14箇所 販売個数 (セット) : 396個 (基材) : 204個 ・前年度から比べて40個販売が増加した。
課題・今後の方向性	製作、販売の仕組みが非効率であること、販売価格に対して原価が高いことなど課題はあるものの、一定の需要をとらえて実績を上げており、生ごみ減量・資源化の政策目的に資することから、引き続き身近なリサイクルを推奨できるよう今後も事業を継続していく。

【取組の様子】



段ボールコンポストセット

担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	資源とごみの情報紙「サイチョプレス」発行による市民向け広報		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(5) 環境に配慮した消費の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>【目的】 市のごみ減量推進キャラクターであるサイチョを活用した分かりやすく親しみやすい紙面構成により、市のごみ処理政策について時事のネタを盛り込んだ情報紙を新聞折込で発行することで、市民の廃棄物施策への理解を深めるとともに、ごみ減量および3R意識の向上を図ること。</p> <p>【概要】 新聞折込みで配布、新聞未購読者への郵送（市報にいがた郵送申込者）、公共施設等の窓口設置や市ホームページに掲載することで、多くの市民に市のごみ処理政策等を紹介する。また、ごみに関するアンケートを随時実施することで、広く市民の意見を集約する。発行回数は年6回。</p>
R5年度実績・成果	<p>主な記事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードシェアリングサービスを展開する民間事業者の取り組み ・新潟市環境優良事業者等認定制度の認定事業者の紹介 ・段ボールコンポストの販売拠点の案内 ・プラマーク容器包装、古紙類などの分別に係る啓発記事
課題・今後の方向性	市民に対してわかりやすく内容を伝えていくほか、市民がサイチョプレス紙面を通して活動に参加するなどの工夫をしながら引き続き紙面を構成していく。

【取組の様子】



担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	学校給食残渣堆肥化事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(5) 環境に配慮した消費の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	資源の地域循環を目的とし、直営給食実施の各学校・幼稚園や給食センターから排出される給食残渣を堆肥化。排出された残渣は舞平清掃センター及び民間施設に搬入され堆肥化される。舞平清掃センターの堆肥は市民に無料配布、民間施設の堆肥は直接取引や地元農協を通じて農家などへ販売されている。
R5年度実績・成果	R5年度実績 給食実施の148校（幼稚園11園、小学校106、中学校29、特別支援学校2）から排出される給食残渣487トン进行堆肥化。
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・食育や環境教育との連携 ・学校側での水切りなどの分別徹底

【取組の様子】



担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	地域の生ごみ堆肥化事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(5) 環境に配慮した消費の推進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	<p>【目的】 地域、家庭から出る生ごみの減量、活用のため、生ごみを各拠点で堆肥化し、できた堆肥は各拠点の特徴を生かし活用することで、地域での資源循環の構築を目指す。</p> <p>【概要】 地域・家庭で出る生ごみの減量及び活用のため、江南区及び西蒲区の拠点に生ごみ処理機を設置し、生ごみを持ち込む市民を会員として登録、生ごみを各拠点で堆肥化。できた堆肥を利用し、付近の農家、会員が野菜等を作る資源循環の構築。</p>
R5年度実績・成果	<p>回収・堆肥化拠点：2か所（江南区、西蒲区） 生ごみ収量：3,095kg（前年度比▲429kg） 堆肥抽出量：844kg（前年度比▲42kg） 累計会員数：226人（前年度比+1人） 実会員数：195人（前年度比+1人）</p>
課題・今後の方向性	<p>令和5年度末をもって西蒲区の拠点が廃止となったことから、会員数及び生ごみ回収量は減少する見込み。 持ち込み量が減少し続けている一方で、家庭で利用する電動生ごみ処理機の補助件数は増加している状況があることから、そうしたことも踏まえて事業の在り方を検討する段階にきている。</p>

【取組の様子】

地域の食品リサイクルループに参加しませんか？

ご家庭から出る「燃やすごみ」のうち、約3割が生ごみです。その生ごみを堆肥にしてみませんか。拠点に設置した生ごみ処理機にご家庭から出た生ごみを投入していただき、できた堆肥は農家さんなどに配布しています。食品廃棄物を利用した肥料で農産物を生産する、地域で完結した循環型モデルを目指しています。

【会員登録は市HPからスマホから
会員登録フォーム
電話でも受付
できます。】

問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391

1 地域住民
水切りの生ごみの持ち込み

2 堆肥化拠点
堆肥化
●鳥産物売所大地（江南区茅野山）
●森のエコステーション各店（西蒲区巻）

3 地域住民（農家）
堆肥の活用

4 堆肥でできた野菜の栽培

生ごみを持ち込むには会員登録が必要です

担当課	循環社会推進課
-----	---------

事業名等	元気な農業応援事業		
基本施策	環境に配慮した食育の推進		
施策内容	(5) 環境に配慮した消費の推進		
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	本市農業の持続的発展に向けて意欲ある農業者が今後の経営発展のために取り組む経費を支援する。
R5年度実績・成果	環境保全・資源循環型農業の実施に必要な機械や施設などへ支援し、環境に配慮した農業の取組拡大を図った。
課題・今後の方向性	今後も支援を継続しながら取組の拡大を図る。

【取組の様子】

担当課	農林政策課
-----	-------

5 食の安全・安心に関する食育の推進

事業名等	「食の安全基本方針」の普及と取り組みの推進		
基本施策	食の安全・安心に関する食育の推進		
施策内容	(1) 食品の安全性に関する知識と理解の増進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食の安心の基盤となる食の安全について、食の安全基本方針に基づき、関連課、関係団体らと協働して食の安心・安全を確保するための事業に取り組む。
R5年度実績・成果	「食の安全基本方針」や「令和5年度新潟市食品衛生監視指導計画」に基づき、各事業を実施した。 また、関係団体、消費者協会、市民らで構成される食の安全意見交換会では、各事業の取組状況について意見交換を行い、次年度の計画に反映した。
課題・今後の方向性	食に関する不安、不信を取り除き信頼を確保するため、消費者、食品等事業者、行政の全てが、それぞれの役割を果たしながら連携・協力していく。

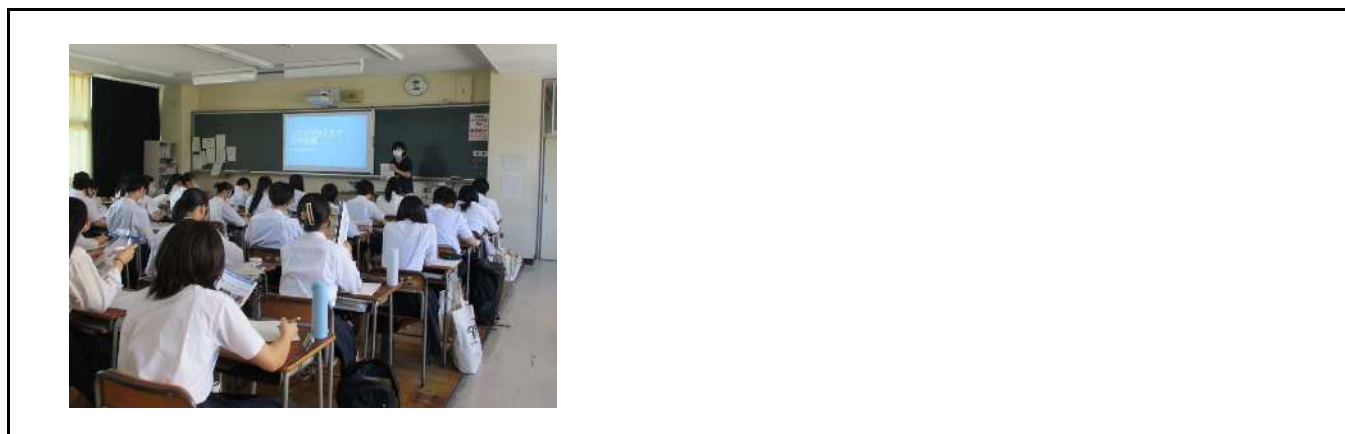
【取組の様子】

担当課	保健所食の安全推進課
-----	------------

事業名等	食肉の安全性についての情報提供		
基本施策	食の安全・安心に関する食育の推進		
施策内容	(1) 食品の安全性に関する知識と理解の増進		
基本目標	<input type="checkbox"/> 【1】 食を楽しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 【2】 食を大切にする	<input type="checkbox"/> 【3】 食で健康になる

事業目的・概要	食肉の安全性に関する市民の理解向上のために、食肉センターにおける食肉の衛生的な取り扱いや安全確保について、市政さわやかトーク宅配便や市政教室等を活用して情報提供を行った。
R5年度実績・成果	市政さわやかトーク宅配便・市政教室等で情報提供を継続して行った。 (対象者171名)
課題・今後の方向性	内容を精査し、より分かりやすく効果的な情報提供を継続して行う。

【取組の様子】



担当課	食肉衛生検査所
-----	---------

「令和5年度 食育推進施策実施状況報告書」

新潟市農林水産部 食と花の推進課 作成